

**第 11 次三朝町総合計画**  
**前期基本計画検証結果報告書**

令和5年11月  
鳥取県三朝町



# 目次

## 第1編 はじめに

---

はじめに .....	1
<b>第1章 総合計画とは</b>	
1. 基本構想 .....	2
2. 基本計画 .....	2
3. 推進計画 .....	2
<b>第2章 前期基本計画の概要</b>	
1. 計画の概要 .....	3
2. 検証の内容 .....	3
3. 実現目標に対する総合検証 .....	3
4. 今後の方向性 .....	3
5. 検証の内容 .....	4

## 第2編 前期基本計画の検証

---

<b>第1章 感性と自立心を育む町</b>	
1. みささ教育のすすめ .....	5
2. ふるさとを愛する人づくり .....	8
3. 自立と社会参加のすすめ .....	11
<b>第2章 支え合いでつながる町</b>	
1. みんなで創る、みささのつながり .....	15
2. 未来につなげる公共交通 .....	17
3. 安全・安心な生活 .....	18

### 第3章 いのちと健康を育む町

- |                  |    |
|------------------|----|
| 1. いのちを育て・守り・支える | 20 |
| 2. 健康長寿のすすめ      | 24 |
| 3. 共生社会を目指して     | 26 |

### 第4章 豊かな資源を活かす町

- |                |    |
|----------------|----|
| 1. 観光業の活性化     | 28 |
| 2. 商工業の活性化     | 30 |
| 3. 農林業の活性化     | 31 |
| 4. 地域資源の活用に向けて | 33 |

### 第5章 笑顔で元気に暮らせる町

- |                     |    |
|---------------------|----|
| 1. みささらしい暮らしを創る     | 36 |
| 2. つながりをお大切にする地域づくり | 38 |

# 第1編 はじめに

---

三朝町では、町の明るい未来を開くため、町民と地域、行政が共に考え、汗をかき、暮らしやすい新しい町づくりを進めるため、町の目指すべき新しい将来像を掲げ、その実現に向けた基本的な方針と施策の内容を明らかにすることを目的として、令和元年度に「第11次三朝町総合計画」を策定し、「“みささ”する」を合言葉に「笑顔と元気があふれ 輝く町」の実現を目指して、各施策に取り組んできました。

この度、前期基本計画の計画期間（令和元年度～令和5年度）の終了を迎えるにあたり、これまでの取り組みの成果や残された課題を明らかにし、今後のまちづくりに活かしていくために、計画に位置付けられた事業等の実施状況の検証を行いました。

検証に際しては、これまでの取り組みの成果について、実績や目標値の達成見込みなどの視点から評価を行いました。

また、前期の成果・実績・課題等を踏まえて、総合検証を行い、その総合検証の結果を踏まえ、令和10年度までを計画期間としている基本構想の実現に向けて、今後の方向性を整理しました。

この中で明らかになった「今後の課題」等については、後期基本計画の策定の指針として活用していきます。

# 第1章 総合計画とは

総合計画は、全ての行政活動の基本となる自治体の最上位計画であり、町民と行政が一体となって町づくりを進めていくための中長期的な指針となるもので、「基本構想」「基本計画」「推進計画」の3編で構成し、それぞれの役割と期間は、次のとおりです。

## 1. 基本構想 ～町づくりの指針（基本方針）を定めます～

「基本構想」は、将来の本町の目指すべき発展する方向を見定め、将来の三朝町のあるべき姿を示すとともに、その実現に向けた基本的・長期的な施策の方向性を明らかにする「町づくりの指針」を定めるものです。

基本構想の期間は、令和元年度を初年度とし、令和10年度を目標年度とした10年間とします。

## 2. 基本計画 ～施策を実現へ進める事業を取りまとめます～

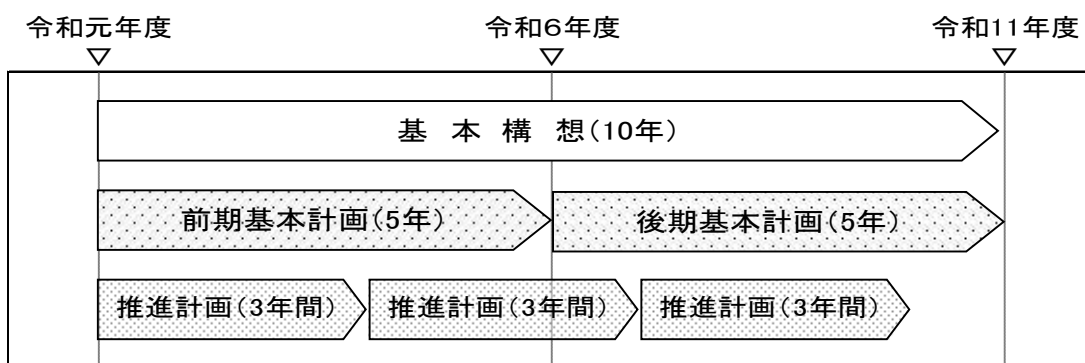
「基本計画」は、基本構想に基づき実施する基本的な施策を示すもので、施策の長期的目標と施策の体系及び主要施策を示したものです。

基本計画の期間は、基本構想の期間を前期と後期とに分け、令和元年度から令和5年度までの5年を「前期基本計画」とし、令和6年度から令和10年度までの5年を「後期基本計画」とします。

## 3. 推進計画 ～目標達成の具体的手段として取り組みます～

「推進計画」は、基本計画の方針を受け、各年度における事業の進捗状況、財政状況を勘案しつつ、3年ごとに計画内容の見直しを行っていくものです。

第11次三朝町総合計画の構成



## 第2章 前期基本計画の概要

---

### 1. 計画の概要

「基本計画」は、基本構想の実現に向けて必要な施策の方向を体系的に整理し、町政の運営を総合的かつ計画的に進めていくための指針とするとともに、各種計画や施策の基本となるものです。

「前期基本計画」の計画期間は、令和元年度から令和5年度までの5年間です。

### 2. 検証の内容

令和元年度から令和5年度までの5年間に、分野別の施策を推進する上でのみさきスタイルの「実現目標」について、成果や実績または課題等の分析を行いました。

また、主要施策に対する達成見込みや具体的事業の実績について各事業ベースで整理しました。

### 3. 実現目標に対する総合検証

取組実績、施策検証及び今後の課題を踏まえ、「良好」「概ね良好」「やや不良」「不良」の4段階で実現目標に対する総合的な検証を行いました。また、検証の判断理由について整理しました。

- ① 良 好 . . . . . 目標に対して十分な施策の展開が図られた。
- ② 概ね良好 . . . . . 目標に対して概ね施策の展開が図られた。
- ③ やや不良 . . . . . 目標に対してあまり施策の展開が図られなかった。
- ④ 不 良 . . . . . 目標に対して全く施策の展開が図られなかった。

### 4. 今後の方向性

実現目標と総合検証の結果を踏まえ、令和10年度までを計画期間としている基本構想の実現に向けて、今後の方向性を「現状のまま継続」「見直し（拡大）のうえ継続」「見直し（縮小）のうえ継続」「施策の廃止（完了）」「その他」の5分類に整理しました。

- ① 継 続 . . . . . 今後も現状のまま継続する。
- ② 見直し(拡大) . . . . . 施策を見直し、拡大のうえ継続する。
- ③ 見直し(縮小) . . . . . 施策を見直し、縮小のうえ継続する。
- ④ 廃 止(完了) . . . . . 施策の目的達成及び社会情勢の変化等に伴い廃止する。
- ⑤ そ の 他 . . . . . 特別な状況や事情がある場合。内容を具体的に記述

## 5. 検証の内容

【町の将来像】 笑顔と元気があふれ 輝く町 【基本理念】 「まち」と「ひと」 個性が交響する町づくり	分野別将来像	基本方針	政策分野
	感性と自立心を育む町	○みささ教育のすすめ	学校教育の充実
○ふるさとを愛する人づくり		次代を担う人づくりの推進 文化芸術の振興	
○自立と社会参加のすすめ		生涯学習の振興 スポーツの振興 協働による地域の活性化	
支え合いでつながる町	○みんなで創る、みささのつながり	消防、防災体制の充実 安全・安心の地域づくり	
	○未来につなげる公共交通	公共交通の確保	
	○安全・安心な生活	安定した水供給と適正な排水処理 安全で円滑な地域道路網の確保	
いのちと健康を育む町	○いのちを育て・守り・支える	子育て環境の充実 地域福祉の推進 地域医療体制の充実	
	○健康長寿のすすめ	高齢者福祉の充実 健康づくりの推進	
	○共生社会を目指して	障がい児・者福祉の充実	
豊かな資源を活かす町	○観光業の活性化	観光の町の推進	
	○商工業の活性化	商工業のにぎわいづくり	
	○農林業の活性化	農林業のにぎわいづくり	
	○地域資源の活用に向けて	文化財の保存と活用 産業の振興	
笑顔で元気に暮らせる町	○みささらしい暮らしを創る	多様な暮らし方への応援 環境保全と廃棄物の減量化	
	○つながりを大切にする地域づくり	共につながり活力あるコミュニティー	
		国内・国際交流の推進	
		町づくり応援団の充実	
		情報発信と共有の推進	
		広域的な連携と計画的な行政運営	



# 第2編 前期基本計画の検証

## 第1章 感性と自立心を育む町

### 1. みささ教育のすすめ

#### 【基本方針】

子どもたちの育ちは、学校、家庭、地域、行政が連携し、町全体が一体となった体制のもとで支える必要があります。

豊かな自然環境や人の輪をはじめとする“みささの良さ”を活かし、確かな学力を身に付け、運動能力を向上させ、人を大切にする温かい心の醸成に努めます。

#### (1) 学校教育の充実

##### ①実現目標に対する検証（成果・実績、課題等）

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
子どもたちへ生きる力を身につけさせるため、長い歴史と伝統を育んできた東小学校、西小学校、南小学校の3校を統合し、平成31年4月に三朝小学校として開校します。統合を契機とした魅力ある学校づくりを行うとともに、幼児期から中学校までの連携と本町の特色を活かした教育に取り組めます。	平成31年4月、町内3小学校を統合し、旧西小学校校舎を活用して三朝小学校を開校。「みささっ子教育ビジョン」に基づき、園小中連携に取り組みながら、ふるさとキャリア教育をとおして本町を誇りに思うみささっ子の育成に取り組んでおり、引き続き取り組みの強化を図る。	概ね良好	拡大
子どもたちが主体的に学ぶ意欲と態度の育成、特別な支援が必要な子ども一人ひとりの状況に応じた教育、保育所・小学校・中学校間のつながりのある連携した教育に取り組む、確かな学力を伸ばします。	G I G Aスクール構想実現に向けた1人1台端末の整備とともに、児童生徒と教職員のICT活用能力向上と活用促進により、誰一人取り残さない個々の深い学びの実現を図った。また、園小中連携とふるさとキャリア教育による地域の学びをとおして学力向上を図っている。	概ね良好	継続
芸術や文化に触れ豊かな感性を育むとともに、他人の痛みや悲しみを理解する優しい心と協調性を育み、不登校児童生徒を含めた児童生徒の悩みに対応する体制を整え、子どもたちの豊かな心の醸成に努めます。	児童生徒が本物の文化芸術に触れる機会を毎年設けるとともに、教育相談体制を整え、子どもたちの豊かな心の醸成に努めた。いじめ・不登校に関する教育や環境整備に今後さらなる注力をしていく。	概ね良好	拡大
子どもの発達段階を考慮しながら、体力や運動能力の向上を目指し、運動に親しむ楽しさを育成するとともに、食育や健康教育の充実に努め、家庭や地域と連携しながら	学校での各種大会参加を通じた体力・運動能力向上の取り組みをはじめ、スポ少・部活動の取り組み支援、食育や命の学習をとおして、家庭	良好	継続

健やかな身体を育みます。	や地域と連携しながら子どもたちの健やかな体の育成を図っている。		
本町の産業・歴史・文化・自然環境への理解を深め、ふるさと三朝町に誇りと愛着を持つ心を育てます。	ふるさとキャリア教育による地域の学びをとおして、本町を誇りに思うみささっ子の育成に取り組んでいる。	良好	継続
観光・交流の町としての資質を教育に活かす取り組みを推進し、外国語教育の充実をはじめ、国内外との交流を通じて、社会で活躍する人材の育成を目指します。	園小中連携による「みささイングリッシュシャワープログラム」への取り組みを通じて外国語教育の充実を図るとともに、フランス・台湾との国外交流、城陽市・多賀町との国内交流を通じて子どもたちが社会と豊かに関わる力の育成を図っている。	良好	継続
学校、家庭、地域、行政が、それぞれの立場から連携を図り、地域が一体となって学校を支援する「教育コミュニティづくり」を推進します。	令和4年度の学校運営協議会設置による小中学校のコミュニティ・スクール化により、学校サポート隊のさらなる関わりをとおして学校応援体制を進めている。	概ね良好	継続
充実した教育活動を実践するため、学校施設づくりと放課後における子どもたちの快適な居場所づくりに取り組みます。	令和4年度から小学校新築工事に着工するとともに、工事完成後の学童クラブ施設・運営のあり方についてさらなる検討を進める。	概ね良好	継続
安定した学校運営と教職員の資質の向上を通じて、全ての子どもが安心して教育を受けられる体制づくりを進めます。	教職員の働き方改革を進めつつ、指導力向上に向けた研修機会等を充実させ、子どもたちが安心して教育を受けられる体制づくりに引き続き取り組んでいる。	良好	継続

## ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
・ICT機器活用促進事業	ICT活用授業実施率 50%	ICT活用授業実施率 55%
・幼小中一貫外国語習得事業	中学校卒業時に英語で三朝町を紹介できる生徒の割合 80%	中学校卒業時に英語で三朝町を紹介できる生徒の割合 90%
・中学校各種検定受験事業	3級検定受験率 50%	3級検定受験率 12%
・英語専科教員配置事業	小学校英語専科教員配置 1名	小学校英語専科教員配置 1名
・外国語指導助手活動事業	小中学校各1名配置	小中学校各1名配置
・学力アップ土曜学習事業	中学生 10回/年以上	中学生 8回/年
・メディアとのつきあい方学習事業	講演会 年1回	講演会 年1回 (中学校)
・保小、小中連携強化事業	年3回	年10回
・芸術文化にふれる事業	年1回	年1回
・読書のすすめ事業	中学生1日の読書時間1時間以上の割合 25%	中学生1日の読書時間1時間以上の割合 10.4%
・心の教室相談員配置事業	中学校 1名配置	中学校 1名配置
・遊びの王様事業	優勝チーム数 1チーム以上	優勝チーム数 なし

・中学校運動部活動外部指導者派遣事業	中学校 3名	中学校 3名
・魅力再発見事業（自然環境編）	中学校卒業までに若杉山登山、小鹿溪散策体験	小学校卒業までに高清水トレイル、小鹿溪散策、馬場の滝、牧の滝体験
・海外短期留学助成事業	短期留学生 年1名	
・英語生活体験事業	年1回	実施なし
・中学生手作り訪仏事業	派遣 年1回	派遣 年1回
・台中市石岡区との中学生相互交流事業	相互交流 年1回	相互交流 年1回
・魅力再発見事業（日本遺産編）	中学校卒業までに三徳山登山、三朝温泉入浴・食事体験	小学校卒業までに三徳山登山体験
・魅力再発見事業（歴史文化編）	地域の先人に学ぶ取り組み 年1回	地域の先人に学ぶ取り組み 年1回
・コミュニティ・スクール活動事業	小中で実施	R4より小中で実施
・学校支援推進事業（ボランティアによる学校への協力）	小中計 60人	小中計 25人
・小学校施設整備事業	小学校建設	小学校新築工事着工中
・放課後児童拠点施設整備事業	学童クラブ施設建設	現状維持
・小中学校OA機器整備事業	小中学校タブレットPC 3クラスに1クラス分	小中学校タブレットPC 1人1台
・ICT支援員配置事業	1名	1名
・教職員の休暇取得に資する学校閉庁日の設定	夏休み中 年3日	夏休み中 年3日
・教職員働き方改革事業	町負担職員配置	町負担職員配置

### ③具体的事業の実績等

（単位：千円）

施策の体系	事業名	R1実績	R2実績	R3実績	R4決算	R5予算
確かな学力の育成	学力向上事業	277	101	508	-	-
	学力アップ土曜学習事業	220	203	23	0	35
	みささイングリッシュシャワープログラム	-	2,315	-	-	-
	外国語支援員配置事業	-	-	199	249	661
	創意と特色ある学校づくり事業(小・中)	148	132	195	196	196
	少人数学級加配教員配置負担金	2,000	2,000	0	0	-
	小学校外国語指導助手活動費	4,236	236	2,223	3,433	5,679
	外国語指導助手活動費(中学校)	4,632	4,830	3,929	4,691	6,485
豊かな心の醸成	いじめ・不登校対策事業	433	418	256	339	278
	不登校児童生徒支援事業補助金	-	-	0	25	300
	特別支援教育費(小学校)	7,953	5,953	5,897	5,718	6,507

	不登校対策支援員配置事業	1,506	1,883	1,767	1,779	2,148
	心の教室相談員設置費	808	745	797	811	1,135
	特別支援教育費(中学校)	1,759	1,804	3,879	4,362	4,593
健やかな体の育成	中学校運動部活動外部指導者派遣事業	308	814	1,044	989	1,371
豊かな関わりの醸成	小学生相互交流事業	-	0	0	64	84
	中学生手作り訪仏事業	2,641	0	0	0	5,810
	台中市石岡区との中学生相互交流事業	2,779	0	0	0	4,973
学校コミュニティづくりの推進	学校支援推進事業	37	71	44	-	-
	コミュニティ・スクール推進事業	-	-	39	29	110
教育環境の充実	放課後児童対策費(西)	8,992	10,622	10,533	10,643	14,169
	放課後児童対策費(東)	6,686	6,580	6,889	6,773	7,105
	放課後児童対策費(南)	4,491	4,419	158	-	-
	教育 ICT 活用促進事業	1,883	3,801	-	-	-
	三朝町教育 ICT 学びの充実推進事業	-	-	6,164	6,831	6,490
	学校運営支援員配置事業	-	1,032	916	1,119	1,172
	教職員指導力向上研修事業	-	154	181	161	192
	小学校OA機器等備品整備費	7,868	1,447	1,594	4,956	5,142
	小・中学校 GIGA スクール構想整備費	-	13,166	2,787	-	-
	小学校施設整備事業	-	621	163,632	1,062,535	1,377,651
	中学校OA機器等備品整備費	3,988	4,853	3,450	1,234	1,245
中学校トイレ改修事業	-	13,673	-	-	-	

## 2. ふるさとを愛する人づくり

### 【基本方針】

町の将来を担う人づくりを進めるため、老若男女が年齢に関係なく日々の生活の中で互いに学び合える環境と、それを支える地域の体制が必要です。

温かな笑顔でつながる“みささ”の中で、地域の若者がふるさとの良さを再認識し、「ふるさと三朝」の未来を共に考え、行動していくことを目指します。

### (1) 次代を担う人づくりの推進

#### ①実現目標に対する検証(成果・実績、課題等)

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
青少年の健全育成に向けて新たな体制づくりを検討するとともに、地域における活動の場として、体験交流活動やボランティア活動に参画できる仕組みを創ります。	既存の各種青少年育成団体を統合し、子ども達が町内で活躍できる機会を積極的に創出することを目的とした新たな活動体の新設を令和5年度中に検討する。 また、県中部に所在する鳥取看護・短期大学の学生を対象に町内のボランティア活動機会の創出を図った。将来的に、町内在住	概ね良好	継続

	の中高生を巻き込んだ地域活動サークルの設立を目指す。		
家庭、地域、行政が一体となり、老若男女が楽しみながら参加できる学びの機会を創ります。	かがやくこどもフェスティバルを毎年開催し、子どもたちと地域の大人たちが関わる機会を創出している。 毎年、様々な公的機関や NPO 法人、企業等が参画し、子どもたちの体験機会を提供していただくとともに、毎年多くの三朝中学生がボランティアスタッフとして参加する等、子どもと地域のつながりの場として、多くの来場者から好評を得た。	良好	継続
家庭が本来の役割を果たし、親と子どもと共に成長していけるよう、家庭や地域における学習機会の充実を図ります。	「子育て・親育ち講座」の開催により、親子や地域住民が子育てについて学ぶ機会を提供した。	概ね良好	継続
広報や啓発活動などを通じ、青少年の健全育成に関する情報提供を行うことにより、町ぐるみで青少年を支援していく取り組みを進めます。	子育て 12 か条を作成し、毎月 1 項目ずつ、広報や防災無線を通じて周知を図った。	概ね良好	継続
住民の地域活動への参加と世代間交流・異年齢交流を進め、地域に対する理解を深め、町に誇りと愛着を持った人づくりに取り組みます。	子ども達の野外活動を中心とした「みささ青空体験塾」を毎年開催している。事業委託先の NPO 法人による魅力的な企画・運営により年々参加児童数が増加傾向にある。 また、子どもだけでなく野外活動を経験した事の無い保護者も一緒に活動することで、親子が深くふれあう機会として、参加者からも好評を得ている。	良好	継続

## ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5 年度目標	R5 年度見込
・青少年団体の育成	1 団体 20 人	1 団体 20 人
・共に取り組むふるさと教室	令和元年度～検討・実施	令和 5 年度～検討・実施
・魅力ある地域活動事業	令和元年度～検討・実施	令和 5 年度～検討・実施
・地域協議会との協働による交流事業	令和元年度～検討・実施	令和 5 年度～検討・実施

## ③具体的事業の実績等

(単位:千円)

施策の体系	事業名	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 決算	R5 予算
青少年の健全育成	青少年劇場開催事業	647	320	483	584	760
	未来を拓けみささっ子創造事業	272	365	100	257	544
	三朝町・城陽市文化スポーツ交流事業	513	0	25	16	605
	みささ町かがやく子どもフェスティバル開催事業	244	295	306	313	439
家庭・地域教育の支援	地域が育てる子ども総合対策事業	697	800	715	781	800

## (2) 文化芸術の振興

### ①実現目標に対する検証 (成果・実績、課題等)

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
町民の文化芸術活動を充実させるため、文化団体連絡協議会などと連携しながら文化芸術団体の育成を図るとともに、多様化するニーズに対応するため、文化芸術活動に携わる新たな指導者の確保に努めます。	数年間の新型コロナウイルス感染症の影響により、各種文化芸術団体の活動を休止せざるを得ない状況が続き、積極的な施策実施に至らなかった。 改めて、芸術文化活動に対する町民のニーズ等を把握し、これらの活動機会を創出する施策を再検討する。	やや不良	継続
文化団体連絡協議会や各地域協議会と連携を図り、町民が身近に感じることのできる魅力ある活動をしっかりと周知し、町民の参加への意識を醸成します。	数年間の新型コロナウイルス感染症の影響により、各種文化芸術団体の活動を休止せざるを得ない状況が続き、サークル及び会員数の減少が見られた。 「町民一人一趣味」をスローガンに、文化芸術サークルの活動や新設に対する町としての支援拡充を検討するとともに、若い世代が中心となった文化芸術活動の推進を図っていく必要がある。	やや不良	継続
町民の参画と協働、教育という視点から、総合芸術祭（仮称）を開催し、町民が気軽に本物の芸術文化に触れることのできる環境を創ります。	コロナ禍のため大規模なイベントを企画することはできなかったが、NHK 公開番組に毎年応募し、R3 に「民謡を訪ねて」、R5 に「上方演芸会」を開催し、芸術文化に触れる場を提供した。	不良	縮小
町総合文化ホールの有効活用に向け、運営体制の充実に努め、周辺市町にある文化施設や三朝バイオリン美術館との連携した取り組みを進めます。また、倉吉市に建設予定の鳥取県立美術館との連携を検討します。	日南町と宝くじ文化公演会を共同開催したほか、三朝バイオリン美術館については、町行事での演奏等行うなど、周辺文化施設と連携した取り組みを行った。 今後、現在建設中の県立美術館との連携を検討したい。	概ね良好	継続
廃れつつある田舎の手仕事を発掘・復活させ、“みささならでは”の文化としての価値を高めます。	地域の伝統工芸品を後世に残すため、作成技術の継承と原料生産の取り組み等、地域協議会の取り組みを支援する。	不良	縮小

## ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
・文化芸術サークル団体数と加入者数の増加促進	24 団体、250 人 (H30 : 22 団体、220 人)	18 団体 167 名
・総合芸術祭（仮称）の開催	令和 2 年度～	事業計画の再検討
・子どもの文化芸術体験の充実	令和 2 年度～	令和 5 年度実施予定
・田舎の手仕事発掘・復活事業	令和 2 年度～	令和 6 年度～
・町総合文化ホールの利用促進	利用者数 45,000 人 (H29 : 32,000 人)	利用者数 45,000 人
・三朝バイオリン美術館の利用促進	利用者数 18,000 人 (H29 : 4,700 人)	利用者数 10,000 人

## ③具体的事業の実績等

(単位:千円)

施策の体系	事業名	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 決算	R5 予算
文化団体などの支援と 後継者育成	文化振興事業費	320	342	143	326	345
	三朝町将棋フェスティバル開催事業	-	-	-	223	250



文化芸術機会の充実	三朝町音楽祭開催事業	-	0	-	-	-
	山口恵梨子杯将棋大会補助金	0	300	0	-	-

### 3. 自立と社会参加のすすめ

#### 【基本方針】

防災や福祉など住民に必要な施策は、従来の「行政主導」から「行政と住民が協働で取り組む」時代へと移り変わってきています。行政として、生涯にわたって自主的に学び続けることのできる環境を創り、町民が率先して学び、地域づくりなどの社会活動に参加しようとする意識を高めます。

#### (1) 生涯学習の振興

##### ①実現目標に対する検証（成果・実績、課題等）

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
社会情勢の変化や地域の特性、町民ニーズを的確に捉えながら、町の特色を活かした新しい学びの場を創出し提供します。	生涯学習教室「三朝大学」を毎年開催。コロナ禍の中でも通信授業や会場の工夫等の対策を施し、年間を通じて町民の学びの場を提供することができた。 また、令和5年度から「社会教育講座」を開催し、幅広い年代を対象に、本町に所縁のある講師による講座又は次代に即したテーマを取り上げる新たな学びの場を創出する。 図書館では、移動図書館車（28か所）を維持しているが、巡回する集落や利用者が年々減少してきており、町民のニーズを捉えて新たな図書館サービスを検討していく必要がある。	概ね良好	継続
学校、家庭、地域、民間団体、町内事業者との連携を図り、町全体で地域の実情に即した共育に取り組める体制を構築します。	令和4年度に組織化したコミュニティ・スクールの体制を活用し、学校と地域等の連携を深める体制構築の検討を続けるとともに、その実現に向けて関係団体等との調整を図っていく。	やや不良	継続
学校教育と連携しながら、地域の歴史などをよく知る高齢者から学びを受けられる機会を創ります。	令和4年度に組織化したコミュニティ・スクールの体制を活用し、今後は地域協議会等と協力しながら地域の歴史学習を推進する。	やや不良	継続
「人権尊重のまち・三朝町」の実現に向け、時代に即した人権学習や啓発活動を推進します。	人権学習について、県の取組方針である小地域での懇談会に捉われず、「参加型」の学習形態に近い形で住民の集まる機会に出かけて推進を図る人権出前講座を並行して推進する。	概ね良好	継続

##### ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
・生涯学習講座の開催	開催回数 30回 (H29:14回)	開催回数 15回 →三朝大学 8講座、社会教育講座 5回、その他特別講座 2回
・みささ図書館活用推進	貸出冊数 120,000冊 (H29:113,428冊)	貸出冊数 95,000冊 (R4:79,380冊)
・三朝大学高齢者学級の開催	継続開催	継続開催

・多面的な学びの場づくり（手仕事・農産加工・ジビエなど）	令和元年度～検討・実施	5回（社会教育講座）
・プロフェッショナル人材の活用	令和元年度～検討・実施	令和5年度～検討 企業による社会貢献事業の活用
・高齢者×児童生徒 事業	令和元年度～検討・実施	みささ青空体験塾 →参加者40名 青少年育成事業への参画 →参画機会10回以上
・町民人権集会への参加促進	参加人数250人 (H29:216人)	参加人数250人
・人権教育講座への参加促進	参加人数300人 (H30:255人)	参加人数240人

### ③具体的事業の実績等

（単位：千円）

施策の体系	事業名	R1実績	R2実績	R3実績	R4決算	R5予算
生涯学習機会の提供	生涯学習講座「三朝大学」開催経費	100	0	60	88	241
	図書等整備費	4,550	4,633	5,126	5,648	4,875
人権の尊重	人権啓発講演会等事業	252	494	477	624	826
	人権教育推進協議会委託金	575	644	411	446	733

## （２）スポーツの振興

### ①実現目標に対する検証（成果・実績、課題等）

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
年齢に関係なく、誰でも気軽にスポーツに親しむことができるよう、ニュースポーツの普及や講習会、大会を開催し、新しいスポーツ環境の充実を目指します。	令和4年度から三朝町体育協会において「三朝町スポーツクリエイション祭」の開催方法を変更し、町民に気軽にニュースポーツを体験いただく「スポーツバイキング」事業を実施。参加者から高い評価を得た。 スポーツ推進委員会を中心に、モルック、ベタンク、リズムジャンプといったニュースポーツの普及に努めており、地域協議会やスポーツ少年団、親子会等から派遣依頼も多い。 しかし、町民の体育協会及びスポーツ推進委員会に対する認知度は低く、更なる活動の周知を図っていく必要がある。	概ね良好	継続
スポーツ少年団や町民スポーツサークルの活動を支援し、町民の自発的なスポーツ活動を応援します。	町スポーツ少年団本部及び町体育協会において活動の支援を継続し、町民のスポーツ活動機会の創出を推進する。	概ね良好	継続
プロフェッショナル人材などを活用したスポーツ基礎講座（仮）を開催し、スポーツの魅力づくりや技術、指導力の向上を目指し、町民のスポーツに取り組む意欲を高めます。	数年間の新型コロナウイルス感染症の影響により、大人数が関わる事業を制限せざるを得ない状況が続き、積極的な施策実施に至らなかった。コロナ禍期間の社会情勢の変化も踏まえ、計画の再検討が必要。	概ね良好	継続



健康で活力に満ちた長寿社会の実現に向けて、地域全体がスポーツ活動を通じて一体感を持てる取り組みを進めます。	町体育協会において、毎年ヨガ教室を開催し幅広い年代に参加いただいている。 ねんりんピックはばたけ鳥取 2024 の開催にあたり、本町ではベタンク競技が実施されることから、本競技の普及、生涯スポーツの認知度向上を目指す。 生涯スポーツとしてノルディックウォークを推進し、保育園における歩育や、大人を対象にした教室を毎年実施した。運動効果の実証、運動継続の動機づけを行い、実践者を増やすことが必要。	概ね良好	拡大
社会体育施設の老朽化の状況や利用ニーズを踏まえ、計画的に施設整備を進めていくとともに、適切な管理運営体制を整え利用促進を図ります。	個別管理計画のもと、各施設の維持、改修を進めている。令和5年度は町営三朝球場の改修設計を行い、令和6年度の大規模改修を計画している。	概ね良好	継続

## ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
・各種大会などの開催及び選手派遣	参加者数 2,500 人 (H30:2,000 人)	参加者数延べ 2,000 人
・各種スポーツ団体、スポーツ少年団への支援	令和2年度～制度設計	多様なスポーツ活動機会創出に係る支援の検討
・スポーツ推進委員の確保と活用	—	定数 12 名の維持及び自主活動の促進
・スポーツ基礎講座（仮）の開催	—	令和5年度～検討
・地域協議会事業との連携	令和元年度～検討・実施	モルック、ボッチャなどのスポーツ体験を地域協議会事業として実施
・スポーツ推進委員によるニュースポーツなどの普及	参加者数 300 人 (H30:50 人)	スポ推委派遣対象者 300 人
・三朝スポーツの創造	令和元年度～検討・実施	スポーツ推進委員 ・みささ式モルックの発展 ・オリジナル準備体操の研究
・ノルディックウォークの発展的な活用	令和元年度～検討・実施	ウォーキング事業での実施 保育園での歩育の実施
・社会体育施設の利用促進	利用者数 55,000 人/年 (H29:50,000 人)	利用者数 52,000 人/年

## ③具体的事業の実績等

(単位:千円)

施策の体系	事業名	R1実績	R2実績	R3実績	R4決算	R5予算
スポーツ活動の普及と 推進	全国・中国大会等参加助成金	162	331	27	632	400
	三朝町体育協会委託金	2,668	778	1,332	1,729	2,000
	三朝町スポーツ少年団補助金	830	798	830	742	933
	スポーツ推進委員活動費	206	43	38	260	271

## (3) 協働による地域の活性化

### ①実現目標に対する検証（成果・実績、課題等）

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
急激に進む少子高齢化や、人と地域のつながりが希薄になりがちな状況に危機感を持ち、町で暮らす一員として、一人ひとりが使命を持って活躍できる人材の育成を進めます。	住民向け研修会等を通じ、意識醸成に努めてきた。今後も引き続き継続していく。	概ね良好	継続
地域に何が必要なのか、地域で何ができるのかを住民自らが考え、行動に移すことのできる意識醸成に努めます。	令和2年度に創設した地域協議会を対象とした補助金「地域活動チャレンジ事業補助金」を活用し、住民の話し合い、地域の横展開事業などを支援した。	概ね良好	継続
行政職員と住民が一緒になり、地域の活性化に向けた積極的な話し合いのできる取り組みを進めます。	住民向けの研修会や意見交換会を実施してきた。今後も引き続き継続していく。	概ね良好	継続

### ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
・住民意識醸成研修会の実施	令和元年度～実施	住民向け研修会の実施（1回／年）
・地域づくりアンケートの実施	—	検討
・地域づくり座談会の開催による町づくり	令和元年度～実施	令和5年度 実施予定
・町民ワークショップの開催	—	座談会と連携して実施
・町づくり出前講座	—	座談会と連携して実施

### ③具体的事業の実績等

（単位：千円）

施策の体系	事業名	R1実績	R2実績	R3実績	R4決算	R5予算
みんなで取り組む町づくり	三朝町キラリと光る町づくり支援交付金	400	-	-	-	-
	”みささ”する実践交付金	569	0	119	900	900
	地域活動チャレンジ事業	-	92	0	700	1,300
共に取り組む体制づくり	三朝町まちづくり振興事業	263	16	223	485	305

## 第2章 支え合いでつながる町

### 1. みんなで創る、みささのつながり

#### 【基本方針】

安全で安心できる日々の暮らしは、身近な人と人とのつながりで支えられています。防災体制の充実に取り組むことに加えて、いつ発生するかわからない自然災害に対応するため、家族や地域で自主防災体制を整備し、日ごろから共助での取り組みを進め、人と人の優しいつながりによる支え合いを大切にしていきます。

#### (1) 消防、防災体制の充実

##### ①実現目標に対する検証（成果・実績、課題等）

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
地域防災の要である消防団員の確保に向け、青年層、女性、町内事業所勤務者の加入促進を図ります。	消防団員の確保に向けて、令和5年に処遇改善を行い、年額報酬等を国基準へ引き上げると共に機能別団員等の検討も行っていく。	概ね良好	継続
知見に長けた防災専門員を防災体制に位置付け、体制の強化を図るとともに地域を交えた話し合いを通じて、地域の自主防災力を高める、災害に強い町づくりを実現します。	消防団や社会福祉協議会等と連携し、地域での防災学習会の実施やAED講習会を行っている。防災専門員の配置については、適切な人材が確保できていない。	やや不良	継続

##### ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
・将来を見据えた消防団の組織見直し	令和元年度～検討・実施	令和6年度組織改編に向けた周知
・消防能力の向上のための研修、訓練の実施	令和元年度～検討・実施	継続実施
・消防団員の安全を目的とした装備品、資機材の整備	継続実施	継続実施
・防災学習会の開催	令和元年度～	継続実施
・地域防災マップの作成	令和元年度～	継続実施
・自主防災組織の育成	令和元年度～	継続実施

##### ③具体的事業の実績等

(単位:千円)

施策の体系	事業名	R1実績	R2実績	R3実績	R4決算	R5予算
消防団の組織体制と装備の充実	消防団活動費(関係費合算)	6,012	1,618	4,263	14,892	31,861
	消防用施設整備費(町単独事業)	1,805	1,491	1,102	1,414	3,686
	防災基盤整備事業(消防施設)	16,146	7,224	16,729	52,383	0
	災害時における支え愛地域づくり推進事業費	25	0	0	0	100

地域における防災意識の向上と自助・共助体制の推進	非常備消防費(関係費合算)	9,018	10,012	1,721	1,819	1,785
	防災専門官設置費	2,667	2,774	0	-	-

## (2) 安心・安全の地域づくり

### ①実現目標に対する検証(成果・実績、課題等)

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
絆の大切さを認識しながら、子どもや高齢者に対する地域での見守り活動を推進するなど、住民一人ひとりがお互いの安全を意識できる関係を作ります。	倉吉地区防犯協議会の活動を通じて、地域の防犯連絡所及び倉吉警察等と連携し、地域の見守り活動を支援している。	やや不良	継続
交通安全運動を推進するため、警察や交通安全協会三朝支部、交通安全指導員協議会等と連携し、定期的な交通安全啓発活動を実施します。	年4回の交通安全運動時に警察、交通安全協会、交通安全指導員協議会と連携し、街頭広報や、車両による啓発活動を行っている。	良好	継続
管理不全家屋の除却に対する支援策を充実させ、所有者との協議により空家の有効活用を進めるとともに、空家を放置することによるリスクを回避します。	空家等対策計画を策定したことで、空家対策総合支援事業が活用できるようになり、管理不全家屋の除却も効率的に実施できるようになった。直近3か年の事業実施状況は以下のとおり(R2:4件 R3:8件 R4:11件)	概ね良好	継続

### ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
・警察・交通指導員による定期的な指導	継続実施	継続実施
・運転免許自主返納の促進	継続実施	継続実施
・巧妙化する特殊詐欺防止に向けた啓発活動と被害相談対応	継続実施	継続実施
・管理不全家屋の調査	令和元年度～検討・実施	令和5年度 実施
・管理不全家屋除却支援事業の見直し	令和2年度～実施	空き家対策総合支援事業の活用
・空家等対策計画の策定	令和元年度～検討・実施	策定済み

### ③具体的事業の実績等

(単位:千円)

施策の体系	事業名	R1実績	R2実績	R3実績	R4決算	R5予算
交通安全対策の推進	交通安全協会活動費補助金	150	150	150	150	150
	交通安全指導員活動費(関係費合算)	854	735	683	876	817
	交通安全施設整備費	929	2,048	545	897	2,000
防犯及び消費者行政の推進	防犯灯設置事業補助金	727	456	583	515	700
	AED設置事業	2,725	2,575	2,157	2,340	2,697
	犯罪被害者等見舞金給付事業	-	-	-	0	300
	三朝町空き家等撤去費助成事業	1,800	3,000	3,594	6,427	6,000
	ブロック塀改修事業補助金	1,504	826	0	0	1,000

	建築物耐震診断改修費補助金	0	0	0	113	613
--	---------------	---	---	---	-----	-----

## 2. 未来につなげる公共交通

### 【基本方針】

「山中三谷」と称される細長い谷筋に集落が点在する特徴的な地形を持つ三朝町での生活において、交通手段の確保は欠くことのできないテーマです。時代と共に多様化・複雑化する町民ニーズに対し、路線バスによる対応は困難になりつつあります。未来を見据え、持続可能な公共交通サービスの構築に向けた検討を進めていきます。

### (1) 公共交通の確保

#### ①実現目標に対する検証（成果・実績、課題等）

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
小中高生の通学手段や町民の生活を支える移動手段として、不便を感じない新しい公共交通体制を検討します。	三朝町地域公共交通協議会を立ち上げ、三朝町公共交通再編計画を策定。令和3年10月から町営バスの運行を開始し、村中にバス停を設置、運賃を安価にするなど利便性を図った。	良好	拡大
三朝町を訪れる多くの観光客の移動手段として、県内中部の観光地との連結を視野に入れた利便性の高い公共バス路線、ダイヤの調整に努めます。	鳥取県中部地域公共交通協議会に参加し、主にバス路線の見直し等について、中部一体となった調整・協議を行っている。	概ね良好	継続
子どもから高齢者まで多くの町民が移動に使い、社会参加や地域活動の活性化につながる多様な移動の手段を整えます。	バス以外の交通手段の確保・維持体制についても、今後、三朝町地域公共交通協議会の場において検討していく必要がある。	やや不良	縮小

#### ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
・公共バスニーズ調査	令和元年度～実施	R1 実施
・ニーズに合った運行調整	—	—
・小中高校生のバス利用助成	継続実施	継続実施
・地域交通アンケート調査	令和元年度～実施	R1 実施
・地域協議会との地域交通会議	令和元年度～実施	協議会委員として参加
・デマンドバス実証実験	令和元年度～検討	R3 運行開始
・地域公共交通再編実施計画の策定	令和元年度実施	R1 策定
・都市間交通としての高速バスの確保	令和元年度～検討	検討中

#### ③具体的事業の実績等

(単位:千円)

施策の体系	事業名	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 決算	R5 予算
誰でも使える公共交通	バス運行対策費補助金	49,888	59,022	58,313	42,829	39,869
	小学校遠距離通学費補助金	8,059	8,698	7,586	6,405	7,904
	中学校遠距離通学費補助金	2,442	2,115	1,741	1,773	2,000

	高校生等遠距離通学費補助金	2,800	3,354	3,885	3,620	4,301
安心した生活への交通 体系づくり	町有償運送運行事業(関係費合算)	-	-	10,987	26,300	24,414
	公共交通再編実施事業	-	2,530	9,939	-	-
	三朝町地域公共交通協議会開催費	96	68	53	31	134
	地域公共交通再編実施計画策定費	5,104	-	-	-	-

### 3. 安全・安心な生活

#### 【基本方針】

上下水道や道路といった公共インフラの維持は、町民の生活に直接つながる重要なものです。行政の責務として、安全・安心な水の供給と排水処理、道路網の維持管理に努めます。

#### (1) 安定した水供給と適正な排水処理

##### ①実現目標に対する検証（成果・実績、課題等）

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
安全・安心な水の安定供給を行うため、日々の水質管理、適正な維持管理に努めるとともに、施設の老朽化対策を計画的に進めます。	原水等の水質検査に加え、簡易水道区域では毎日採水検査を行うなど、引き続き水質管理に努めていく。また日常的な施設点検に加え、老朽施設の更新にも着手している。	良好	拡大
公共用水域の水質保全のため、適正に生活排水処理を行います。	施設の計画的な更新を進めるとともに、中部で一丸となって管路への不明水混入対策を進めていく。	良好	拡大
今後想定される人口減少に伴う料金収入の減少や、施設の老朽化に伴う修繕費の増大など、上下水道を取り巻く経営環境が厳しさを増す中において、持続的な経営を確保するためには、施設管理や一般事務について広域化の検討を進めます。	令和5年3月に上下水道とも広域化・共同化プランが策定され、本町では集落排水施設（1箇所）の下水道接続を計画するほか、事務の共同化についても引き続き検討していく。	概ね良好	継続
将来にわたり安定的に住民サービスを提供していくためには、資産を含む経営状況を的確に把握し、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上が必要であり、公営企業会計未適用事業について公営企業化を進めます。	簡易水道事業特別会計に地方公営企業法を適用し、令和5年度から水道事業と会計統合を行った。また、令和6年度には下水道事業特別会計と集落排水処理事業特別会計にも地方公営企業法の適用と会計統合を行うため準備を進めている。	良好	継続

##### ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
・老朽管の更新	5,800m	2,667m
・生活排水処理の普及促進	生活排水処理人口普及率 100% (H29 : 98%)	生活排水処理人口普及率 100% (R4 : 98.5%)
・将来の人口減少を見すえた広域化の検討	令和元年度～	中部地区で追加メニューの検討

##### ③具体的事業の実績等

(単位:千円)



施策の体系	事業名	R1実績	R2実績	R3実績	R4決算	R5予算
安定供給の推進 公共用水域の水質保 全	集落排水処理事業特別会計繰出金	74,209	86,358	82,700	78,518	88,843
	簡易水道事業特別会計繰出金	7,239	11,664	16,123	24,203	31,434
	水道事業(施設更新事業)	211,341	93,454	21,474	-	54,438
	下水道事業特別会計繰出金	128,672	120,528	113,766	113,510	111,776
	小型合併処理浄化槽整備事業(個人)	582	0	1,195	0	1,746

## (2) 安全で円滑な地域道路網の確保

### ①実現目標に対する検証(成果・実績、課題等)

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
高度成長期に建設された道路や橋りょうなどの社会基盤の老朽化が進んでいます。町民が安全で快適に利用できるよう、計画的な更新や補修を進め快適性と安全性を確保します。	橋梁長寿命化計画に基づき、定期点検の結果から計画的に補修を行い快適性・安全性の確保を図った。	良好	継続
冬期間の交通確保は、町民生活と経済活動に欠かせない課題となっています。降雪時には計画的に除雪を行い、町民生活の安全と安心を確保します。	冬期間の交通確保にむけ、計画的な除雪に努めた。更なる早期除雪完了を目標としホ°レーターの育成を図る必要がある。	概ね良好	継続
山陰道の整備と併せ、鳥取県中部へのアクセス改善について、県や関係市町と連携した取り組みを進めます。	案内標識の設置等の要望活動を行い鳥取県中部へのアクセス改善を図った。	概ね良好	継続

### ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
・補修を要する橋梁 20 橋への対応(内補修済 10 橋)	20 橋の補修完了	20 橋の補修完了
・除雪体制の確保 (除雪路線 133 路線延長 52Km)	継続実施 (除雪延長 52Km)	継続実施 (除雪延長 53Km)

### ③具体的事業の実績等

(単位:千円)

施策の体系	事業名	R1実績	R2実績	R3実績	R4決算	R5予算
橋りょうの長寿命化	社会資本整備総合交付金事業(橋梁補修)	42,812	36,375	28,879	—	—
	道路メンテナンス事業(橋梁補修)	—	—	—	27,653	11,000
道路の除雪	除雪経費	4,427	7,066	9,409	13,269	14,929
	除雪機械整備費	1,695	0	1,992	0	13,050

## 第3章 いのちと健康を育む町

### 1. いのちを育て・守り・支える

#### 【基本方針】

町の宝である子どもたちの未来を創っていくのは、今を生きる私たち大人の使命です。行政による子育て環境の充実に加え、子どもたちが大人に成長するまでの過程において、地域の人とのつながりの中で温かく見守られ、支えられることが必要です。地域で育った子どもたちが、次代の町を支えることにつながる取り組みを進めます。

#### (1) 子育て環境の充実

##### ①実現目標に対する検証（成果・実績、課題等）

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
「子ども・子育て支援事業計画」の点検・評価を行い、質の高い保育や幼児期の教育ニーズに応じた子育て支援事業の実現に向け、新たな課題の抽出や効果的な事業展開を行います。	令和4年度は、三朝町子ども・子育て会議において、子ども・子育て支援事業の進捗状況等について協議を行い、計画の中間見直しを行った。見直しを行う過程において委員が一緒になって子育ての現状と今後の方策を考えることができた。今後、少子化が進んでいく中での保護者のニーズや時代に合った新たな取り組みを考えていかなければならない。	良好	継続
子育て支援情報ポータルサイトやハンドブックによる情報発信に加え、相談窓口の充実を図り、利用者の積極的な活用を促すことで、安心した妊娠、出産、育児、母子の健康づくりへつなげます。	ポータルサイトに加え、令和4年度からインスタグラムでも情報発信し、三朝町の子育ての取り組みと子どもたちの様子を伝えることができた。妊娠期から出産子育て期まで一貫して面談による相談・支援を行う事業を令和4年度から開始。今後は、相談支援の中にもDXを活用し、誰にとってもわかりやすい情報の発信が課題である。	良好	継続
子育て家庭を的確に支援できるよう、地域ぐるみで子育てに携わることができる環境を整え、保護者のみならず、地域全体で「子どもの成長や子育ての喜び」を共感し合える町を目指します。	令和4年度は、「三朝町子育て12か条」を子育て支援ポータルサイト、インスタグラムで発信したり、保育園、小学校、中学校の児童生徒のいる家庭へ、「三朝町子育て12か条」のカードを配布することにより、情報発信することができた。今後は、子育ての指針となる「子育て12か条」を保護者と児童生徒だけでなく、全町あげての取り組みにするにはどう広報していくかが課題。	やや不良	その他 (刷新)
子どもの健やかな成長発達と、子育て期の親の心身の健康管理に関する支援体制の充実を図り、特に支援が必要な妊娠・出産・産後のケアに重点を置いて取り組みます。	産後ケア事業の充実を図りました。支援の必要な方が、ためらうことなく支援が受けられる体制を整えた。	良好	継続



## ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
・子ども・子育て支援事業計画に基づく施策の実施	令和元年度～実施	令和元年度～実施
・保育所の受入体制の確保	待機児童 0 人	待機児童 0 人
・特色ある保育の実施	年 1 ～ 2 回	年 1 ～ 2 回
・保育士全体研修実施（保育の質の向上）	継続実施	継続実施
・保育所の今後のあり方の検討	令和元年度～	検討実施（R5 末竹田閉園）
・子育て応援ポータルサイト、子育て応援ガイドブック、まちコメールを活用した情報発信	まちコメール登録率 100% ポータルサイトのアクセス数 月平均 2,000 件（H29：月平均 921 件）	まちコメール登録率 69% ポータルサイトのユーザー数 月平均 2,410 件（R4.12 月～R5.5 月平均 2,410 件）
・保育所と地域の交流活動の推進	継続実施	継続実施
・出張子育て支援センターの開設	—	実施形態の検討中
・乳幼児・児童虐待予防のため、関係機関・地域の見守り体制の強化	—	—
・相談体制の充実	乳幼児健診受診率・乳児全戸家庭	乳幼児健診受診率・乳児全戸家庭訪
・産前・産後ケアの充実	訪問実施率 100%	問実施率 100%

## ③具体的事業の実績等

（単位：千円）

施策の体系	事業名	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 決算	R5 予算
子どもが育つ環境の充実	病後児保育事業費	57	55	88	75	177
	休日保育事業	41	89	28	7	151
	一時預かり事業費	3,536	5,175	5,583	5,689	5,765
	病児保育事業費	598	54	372	285	332
	賀茂保育所運営費	99,271	88,843	98,178	76,592	94,810
	竹田保育所運営費	13,146	12,598	13,009	13,243	15,250
	みささこども園運営費	39,280	42,337	39,702	39,986	46,753
	保育所等における ICT 化推進事業	—	—	1,267	506	396
	障がい児保育費	8,408	6,670	10,117	10,306	17,001
	アレルギー児童対策費	170	0	2,363	2,385	2,447
	特色ある保育事業	61	62	44	42	168
	幼保小教育つなげる推進事業	—	53	47	282	567
	保育所改修事業	2,946	61,474	—	726	—
	広域入所保育措置費	40,231	41,915	36,787	31,183	31,106
	児童手当給付費	85,115	81,195	76,440	72,625	68,575
	施設等利用給付費	220	453	444	0	580
特別医療給付事業費費（関係費合算）	38,202	33,384	35,809	33,738	42,729	
切れ目のない子育て支援	プレミアム付き商品券事業費（関係費合算）	27,373	—	—	—	—

地域ぐるみの子育て支援	地域子育て支援センター事業	2,975	2,698	2,966	3,010	3,650
	三朝町すこやか乳幼児家庭保育応援事業	4,687	2,741	1,203	2,600	4,129
	赤ちゃん誕生御祝い事業	188	148	191	-	-
	乳児期子育て応援事業	-	-	-	329	511
母子の健康管理に関する支援	妊産婦・乳児健康診査費	3,925	3,347	3,523	3,081	4,043
	未熟児養育医療事業	0	738	0	0	401
	多胎妊娠妊婦健康診査費	0	0	0	29	29
	三朝町ネウボラ事業	761	886	945	1,063	1,995
	不妊治療費助成事業	1,089	1,816	517	600	1,750
	不育症治療費等助成事業	-	-	-	0	300

## (2) 地域福祉の推進

### ①実現目標に対する検証（成果・実績、課題等）

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
地域の役員だけに頼ることなく、住民一人ひとりができる活動を行い、お互いを尊重し、支え合い、助け合いながら共に暮らすことができる地域づくりを進めます。	「地域包括ケアシステム」の構築を図るため、関係機関と連携し体制の整備を図った。地域において、高齢者や障がい者など災害時において避難が円滑にできるよう、支え愛マップや個別避難計画の作成など引き続き推進していく。	概ね良好	継続
誰もが身近に集い、気軽に話ができて、相談ができる、そして情報の共有が図れる交流活動の推進に努めます。	通いの場づくりを推進し、交流や顔の見える関係づくりから相談しやすい環境整備に努めた。	やや不良	継続
交流活動の推進と合わせ、それに関わる地域の人材の掘りおこしと育成に向けた取り組みを進めます。	高齢社会を迎えるにあたり、地域をはじめとした見守り体制などの各種勉強会や研修会を実施し、地域福祉に係る意識の高揚と人材の育成を図る必要がある。地域活動を活発にされた方も高齢となられ、世代交代による新たな人材掘り起しの方法が課題となっている。	概ね良好	継続
地域の人材と福祉専門機関との連携を図り、さまざまな相談が行える体制の整備に努めます。	成年後見制度における相談体制について、成年後見ネットワーク倉吉や関係団体と連携し、共働で対応できるよう体制づくりを進めた。	概ね良好	継続
福祉的な役割を担う町営住宅の長寿命化計画に基づき、適切な維持管理に努めます。	長寿命化計画に基づき、計画的に維持管理を行った。	良好	継続

### ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
・地域ネットワークの構築 (地域協議会・集落での座談会・連携会議など)	令和元年度～検討	集落福祉推進 2カ所
・地域サロンなどの普及啓発	令和元年度～実施	公民館サロン 15ヶ所
・異年齢交流の場づくり	令和元年度～実施	検討中
・支え合いマップの取り組み推進	全集落での取り組み実施	取り組み実績 3集落

・学習の場づくり	令和元年度～検討	高齢者等の見守り活動勉強会の開催
・集落内の各種役員（区長・民生児童委員など）との連携強化	令和元年度～実施	集落福祉推進 2カ所
・愛の輪運動の推進	愛の輪協力員 50人 (H30: 32人)	愛の輪協力員 24人
・各種ボランティア活動の登録、普及拡大	ボランティア団体登録者 350人 (H30: 262人)	ボランティア個人団体登録 245人
・専門機関との連携強化 ①保健・福祉・医療関係機関との連携 ②生活困窮・就労支援機関との連携 ③権利擁護・成年後見人などの支援体制整備 (高齢者・障がい者)	法人後見人制度の体制整備 1法人 (H30: 0法人)	在宅医療・介護連携の推進 法人後見の整備（三朝町社会福祉協議会）

### ③具体的事業の実績等

(単位:千円)

施策の体系	事業名	R1実績	R2実績	R3実績	R4決算	R5予算
共に支え合える地域づくり	住宅維持補修費(町営住宅)	9,391	15,054	25,201	18,999	45,754
	社会資本整備総合交付金事業(町営住宅長寿命化)	25,162	23,611	21,857	3,119	11,980
	民生児童委員活動補助金	1,556	1,313	1,547	1,896	1,565
地域を支える人づくり、相談支援の体制づくり 共に支え合える地域づくり	社会福祉協議会補助金	25,802	25,588	24,694	25,762	25,919
	福祉センター施設改修費	15,126	9,910	-	2,233	-
	住宅維持補修費(町営住宅)	9,391	15,054	25,201	18,999	45,754

### (3) 地域医療体制の充実

#### ①実現目標に対する検証（成果・実績、課題等）

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
町民それぞれの疾病や介護などの状況に応じ、安心して適切な医療サービスを受けることができる地域医療体制の確立を目指します。	総合病院 1、個人病院 2、歯科医 2	概ね良好	継続
夜間や休日に適切な診療が受けられるよう、鳥取県中部医師会や鳥取中部ふるさと広域連合と連携し、救急医療体制の維持と充実を図ります。	中部医師会、中部 1市 4町で「休日急患診療所及び病院輪番制」を実施し、夜間や休日の適切な診療体制を確保している。	概ね良好	継続

#### ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
・個人病院（在宅医療機関）と総合病院（有床医療機関）の確保	個人病院 2 (H30: 2) 歯科医 2 (H30: 2) 総合病院 1 (H30: 1)	個人病院 2 (R5: 2) 歯科医 2 (R5: 2) 総合病院 1 (R5: 1)

### ③具体的事業の実績等

該当なし

## 2. 健康長寿のすすめ

### 【基本方針】

高齢化社会を迎え、誰もが望むことは、いつまでも元気に自分らしく地域での生活をおくることです。健康対策、医療体制、地域での見守りといった多面的な支援を充実させながら、長年過ごしてきた三朝町で、いつまでも暮らしていける福祉施策を進めていきます。

### (1) 高齢者福祉の充実

#### ①実現目標に対する検証（成果・実績、課題等）

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
高齢者の生きがいづくりと、地域での社会参加の推進を図るとともに、高齢者が自由に外出できる環境の整備を行います。	高齢者の利用に配慮した公共的施設の整備や、高齢者の住みやすいまちづくりを推進するため、バリアフリー化に対する補助金制度や、移動に対する「外出支援」、「タクシー助成」など制度化している。地域で生活できるための制度を引き続き実施する。	概ね良好	継続
地域包括ケアシステムの充実を図るとともに、総合的な介護予防と高齢者の見守りなど、地域での支え合いを推進します。	地域で開催される高齢者の集い、通いの場（サロン）の推進を図るため、普及啓発をはじめ、活動の参加を引き続き実施する。	概ね良好	継続
高齢者が安心して介護サービスを受けることができるよう、介護サービス事業者をはじめとした関係機関と連携します。	高齢者が重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしが続けることを目的に医療機関とサービス事業所が切れ目のなく連携できるよう体制を構築した。	概ね良好	継続

#### ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の生きがいづくりの推進</li> <li>・地域社会参加の推進</li> </ul>	社会貢献活動に参加した高齢者の割合 30% (H30 : 15%)	地域で開催される高齢者の集い、通いの場（サロン）の推進 いきいきサロン事業年間 48 回 延 500 人
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援、介護予防・重度化防止の推進（体力筋力強化教室、いきいきサロン事業、外出支援サービス事業）</li> <li>・認知症施策の推進（認知症カフェの実施）</li> <li>・生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進（生活支援体制整備促進協議会）</li> <li>・高齢者の見守り、地域支え合いの推進（介護支援ボランティア事業）</li> </ul>	自分自身が健康である割合 85% (H30 : 76%) 要介護・要支援認定の割合 19.5% (H30 : 20.1%) 介護支援ボランティアに登録している人数 30 人 (H30 : 19 人) 認知症サポーター数 800 人 (H30 : 413 人)	いきいきサロン事業年間 48 回 延 500 人 外出支援サービス事業 年間 200 回 生活支援体制整備事業 協議体会議年 2 回、地域支え愛講座、ショッピングデイサービス 介護支援ボランティア登録者 19 人

### ③具体的事業の実績等

(単位:千円)

施策の体系	事業名	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 決算	R5 予算
元気な高齢者の創出	外出支援サービス事業委託費	1,089	466	546	604	1,103
	高齢者交通費助成事業	6,105	5,809	5,180	5,005	6,627
	長寿者お祝い事業	726	657	727	621	1,496
	老人クラブ活動費補助金	1,126	866	866	1,020	1,126
高齢者や介護者への支援体制の充実	福祉のまちづくり推進事業補助金	0	0	0	0	3,333
	高齢者居住環境整備事業補助金	0	0	0	-	-
	介護保険特別会計繰出金	141,392	145,272	143,469	137,039	168,575

## (2) 健康づくりの推進

### ①実現目標に対する検証(成果・実績、課題等)

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
生活習慣(食生活、身体活動・運動、飲酒・喫煙、歯・口腔のケア)の改善に向けた取り組みを継続的に推進するなど、町民と行政が協働しながら、地域ぐるみの健康づくりを展開し、護予防と健康寿命の延伸を目指します。	生活習慣の改善に向けた取組を継続的に実施した。しかし、健康づくり事業の参加者は、意識の高い人に偏りがちなため、関心が薄い層へもアクセスできる新たな方法を模索していくことが必要。	やや不良	拡大
三朝温泉病院、岡山大学などと連携し、三朝温泉の泉質が持つ健康効果の活用と運動を取り入れた新たな健康増進プログラムを創ります。	「温泉を活用した健康まちづくり事業」を令和3年度から進めており、令和4年度には当該事業の基本構想を策定するために関係団体と町民でワーキンググループ会議を設置。協議を進めてきた。令和5年度には、スポーツ庁の運動・スポーツ習慣化促進事業を活用し、運動やスポーツ活動の習慣化を通じて健康で活力ある社会の実現に向けていく。	概ね良好	拡大
がん・生活習慣病の早期発見・早期治療につながるよう、がん検診や健康診査の受診勧奨や周知啓発を行うとともに、生活習慣病の発症予防と重症化を予防するため、保健指導の充実・強化を図ります。	コロナ禍により、一旦受診率が下がったが、その後は安定して微増傾向。効果的な受診勧奨を模索するとともに、受診しやすい環境の整備に努めた。 しかし、特定健診・がん検診受診率は、国の示す目標値に達していない。成果の出る受診勧奨や保健指導を行っていくため、新たな方策を取り入れていくことが必要である。	概ね良好	拡大
家庭、地域、学校、職場などそれぞれの生活環境において、ストレスによる睡眠不足から発症するうつ症状などの心の病に気づける環境づくりを進めるとともに、専門医療機関や相談窓口との連携を図り、自死予防の観点を含めた心の健康づくりに取り組みます。	町内事業所訪問を実施し、働き盛り世代の心の健康づくりへの理解を求めた。町内の自死者は減る傾向にあり、年間0~1人を推移している。 全国的には、若者や女性の自死者が増えており、早期発見のため、学校、職場、医療機関や相談窓口との連携を強化させていくことが必要である。	良好	継続

### ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5 年度目標	R5 年度見込
・歯科健診の実施	自身が健康で元気な生活をしていると感じている65歳以上の人の割合 85% (H30:76%)	歯科健診(5歳刻み年齢)の実施率 15%(R4:9.1%) ウォーキング事業で、歩数管理アプリを活用
・「元気生活力」チェックの調査		
・「地域サロン」の育成、支援		

・歩数管理アプリの導入とインセンティブの付与		自身の健康感について、「とてもよい」「まあよい」と感じている 65 歳以上の人の割合 80%（3 年おき調査で R5 実施：79.6%）
・温泉を活用した健康増進プログラムの調査・研究		令和 5 年度 温泉を活用した健康まちづくり事業基本計画で策定（運動・スポーツ習慣化促進事業の活用）
・医療機関等との連携による町民の健康づくり推進	令和元年度～検討・実施	令和 5 年度 温泉を活用した健康まちづくり事業基本計画で策定（運動・スポーツ習慣化促進事業の活用）
・特定健診受診者への保健指導の強化	保健指導実施率 60%（H30：35%）	保健指導実施率 30%（R3：26%）
・がん、特定健診の未受診者への受診勧奨の強化	特定健診受診 60%（H30：31%）	特定健診受診 40%（R3：37%）
・受動喫煙を防止するための意識啓発と制度の周知	がん検診受診率 40%（H30：胃 36%、子宮 26%、乳 12%、肺 42%、大腸 32%）	がん検診受診率 35%（R3：胃 24%、子宮 27%、乳 19%、肺 40%、大腸 32%）
・学習会の実施	自死者 0 人 （H30：2 人）	自死者 0 人（R4） 事業所訪問により相談窓口の周知
・睡眠キャンペーン		
・相談機関の周知		

### ③具体的事業の実績等

（単位：千円）

施策の体系	事業名	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 決算	R5 予算
生活習慣の改善と健康づくりの推進	国民健康保険会計繰出金	59,010	55,501	58,838	59,895	60,559
	後期高齢者医療給付費負担金	32,058	32,343	30,647	34,816	39,329
	予防接種費	12,490	12,882	11,495	12,129	14,540
	心豊かな食育事業	134	221	165	134	188
	健康診査費	13,449	9,935	16,333	14,496	14,734
	温泉を活用した健康まちづくり事業	-	-	-	169	11,253
がん・生活主幹病対策の推進	がん早期発見推進事業	1,439	1,470	1,502	1,663	2,240
「こころ」の健康づくり対策の推進	健康づくり推進事業	700	57	147	214	1,194

## 3. 共生社会を目指して

### 【基本方針】

心や身体に障がいを持った人でも、自分らしい生活をおくることができる町でなければなりません。“みささの温かさ”で、しっかりと支え続けます。

### （1）障がい児・者福祉の充実

#### ①実現目標に対する検証（成果・実績、課題等）

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
------	-------------------	------	-----



障がい者の置かれている環境を十分に理解し、差別や偏見といった「心」の中にある障壁を取り払うための広報・啓発活動を推進します。	啓発イベントや研修会の案内を窓口に掲示したり啓発ポスターを掲示、また町報に掲載する等広報した。	概ね良好	継続
地域における障がい者の支援に関わる協力者などの人材の確保・育成に向け、若年時からの福祉に対する関心を高める教育活動を推進していきます。	障害児支援により、地域で保育、教育を受けることができるよう関係機関と連携して取り組んだ。保育所、学校での福祉への教育活動について、福祉課としての関り方については今後の課題である。	概ね良好	継続
住み慣れた地域で安心して生活をおくるため中部圏域で連携しながら雇用の場の確保を含む総合的な支援の実施、地域生活拠点の整備、住環境の充実などに取り組みます。	中部 1 市 4 町で「中部障がい者地域生活支援センター」を設置（社会福祉法人仁厚会に委託）し、就労につなげる支援体制を整えた。	概ね良好	継続

## ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
・福祉施策の情報発信	広報紙、ホームページでの情報提供	啓発イベント、研修会等のチラシ配架やポスター掲示、また町報への掲載等
・関係団体のイベント参加・協力		
・あいサポート条例の推進	随時	
・福祉教育の実施	町内保育所、小中学校で実施	検討中
・継続的な交流教育		
・相談・情報提供支援体制の整備	相談拠点機関 1 か所（H30：0 か所）	相談拠点機関を委託設置
・障がい福祉サービスなどの充実	—	検討中
・移動困難な者の移動手手段の確保	輸送事業所 1 か所（H30：0 か所）	交通費助成により代替実施 タクシーチケット助成 通院・通所費助成

## ③具体的事業の実績等

(単位:千円)

施策の体系	事業名	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 決算	R5 予算
地域における生活支援体制、地域生活拠点の整備	(再掲)福祉のまちづくり推進事業補助金	0	0	0	0	3,333
	心身障害者等通院交通費助成金	912	844	784	876	950
	重度障害者タクシー助成金	104	119	112	120	204
	障害者自立支援事業費(関係費合算)	163,839	177,625	195,371	187,890	221,664
	障害者医療費給付事業費	14,385	14,916	12,738	7,721	17,690
	障害者地域生活支援事業費(関係費合算)	22,115	22,024	18,720	18,985	24,578
	重度障がい児者等(在宅)支援事業(関係費合算)	738	826	738	127	1,347
	障害児通所支援事業	4,428	8,443	11,744	17,369	22,296
	高齢者補聴器購入助成事業	-	-	-	-	600
	難聴児補聴器購入等助成事業	-	-	-	-	59
	(再掲)特別医療給付事業費(関係費合算)	38,202	33,384	35,809	33,738	42,729

## 第4章 豊かな資源を活かす町

### 1. 観光業の活性化

#### 【基本方針】

観光形態の多様化と、インバウンドによる外国人観光客の増加など、観光業を取り巻く情勢は時代と共に変化しています。本町においても時代に即しながら、三朝温泉を中心とした観光資源、豊かな自然環境、魅力的な産物を有する農林業、価値のある文化財など、町の魅力を最大限に響き合わせながら、“みささしにかなない新たな魅力づくり”を進めます。

また、広域観光の視点もこれまで以上に重要であり、県内外の観光資源との連携した取り組みを進めます。

#### (1) 観光の町の推進

##### ① 実現目標に対する検証（成果・実績、課題等）

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
温泉資源活用施設を中心としながら、多目的駐車場や空き店舗を活用し、温泉街へ人を呼び込む仕組みを創ります。	新規事業者の温泉街での創業により多くの人を呼び込むことができた。また、SNSを活用したイベント情報やテレビ、雑誌の取材等、情報発信による誘客に努めた。	概ね良好	継続
三朝温泉の効能や泉質を効果的にPRするとともに、多様なニーズに対応したサービスの充実や、おもてなしの心の醸成により、快適な温泉地としての観光環境を提供します。	身体だけでなく、心も癒す温泉として、入浴の他に熱気浴、鉱泥湿布等、ニーズに対応したサービスの充実を図っている。	概ね良好	継続
現代湯治のさらなる発展に向け、新しい推進プランに取り組みます。	温泉入浴マイスター「ラヂムリエ」の養成を継続して行っており、入浴に関して適切なアドバイスを行っている。今後、現代湯治の作法について更なる充実を図っていく必要がある。	概ね良好	継続
三朝町ならではのさまざまな地域資源を町の魅力として活用し、三朝温泉の活性化を図ることにより、町全体の振興に結び付けていきます。	SNSを活用した情報発信を継続して行っているが、今後はふるさと納税返礼品の新規開拓により、これまで以上に町全体の振興に結び付けていく必要がある。	概ね良好	継続
既存の連携体制のみならず、より広域的な連携を進めることで、新たな観光振興へアプローチしていきます。	観光3団体との連携は基より、鳥取中部観光推進機構と連携しながら中部圏域の観光振興、日本遺産による県内外との連携も進めている。今後、広く観光の活性化を進める上で、近隣市町との連携を更に進めていく必要がある。	概ね良好	継続
日本遺産のブランドを将来につなげていくためのグランドデザインを創ります。	令和3年度に認定を受けた地域活性化計画に基づき、様々な事業を進める中で、町内事業者による三朝温泉の高付加価値化や、修験をテーマにした県外連携など新たな取り組みも行っている。引き続き有識者による指導や、観光庁、文化庁の各種補助事業等を活用しながらブランド化を進める。	概ね良好	継続



## ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5 年度目標	R5 年度見込
・温泉資源活用施設の建設と活用	日本人 宿泊者数 340,000 人 (H30 : 312,000 人)	日本人 宿泊者数 300,000 人 (R4 : 240,612 人)
・空き店舗などの活用		
・ソフト面を含めた受け入れ体制の整備		
・現代湯治の推進		
・P R、プロモーションの充実		
・案内、メニューなどの多言語化	外国人 宿泊者数 30,000 人 (H30 : 20,000 人)	外国人 宿泊者数 10,000 人 (R4 : 1,723 人)
・キャッシュレス決済への対応		
・SNSなどを活用した情報発信		
・ラドン温泉の健康効果の活用	令和元年度～連携実施	連携実施
・三徳山などの文化財の活用		
・農業や林業などと連携した資源の活用		
・三朝温泉ランドデザインの作成		

## ③具体的事業の実績等

(単位:千円)

施策の体系	事業名	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 決算	R5 予算
健康温泉リゾートの推進	温泉資源活用施設整備事業(管理事業)	132,587	2,030	1,948	-	-
	観光振興地域交付金	2,502	2,506	2,446	752	862
	キューリー祭開催補助金	2,000	338	1,300	1,600	2,800
	国内交流都市観光客誘致対策事業	417	46	55	525	1,186
	鳥取中部観光推進機構負担金	486	486	486	486	486
	温泉を活用した健康づくり全国大会開催費	1,916	-	-	-	-
	東京オリンピック期間誘致支援事業	-	1,338	-	-	-
	観光協会通常事業費補助金	10,156	9,020	8,097	12,479	13,987
	ラドン泉による健康効果研究事業	-	-	973	300	-
	公衆浴場応援事業(新型コロナウイルス感染症対策)	-	4,000	-	2,000	-
	三朝温泉誘客キャンペーン事業(新型コロナウイルス感染症対策)	-	17,990	39,940	72,000	-
外国人観光客への対応	外国人観光客誘致対策事業	1,634	878	842	2,632	1,151
地域資源を活用した町の魅力づくり	伯耆国「大山開山 1300 年祭」実行委員会負担金	1,060	-	-	-	-
	多目的展示施設指定管理費	16,450	16,450	16,450	16,450	16,450
	小鹿溪活用計画策定事業	-	1,848	-	-	-
	観光客誘致対策推進費	1,870	542	1,301	1,519	2,302
	日本遺産を活用した観光 PR 事業	-	627	528	1,303	-
	三徳山選拝所再整備事業	-	1,025	-	3,368	-
	日本遺産活用推進協議会活動補助金	-	-	-	3,200	7,700
	日本遺産を活用した文化観光イベント補助金	-	-	-	1,434	3,500
	日本遺産活用調査事業(新型コロナウイルス感染症対策)	-	-	1,000	2,000	-

	三徳山遺跡発掘調査等事業	7,231	8,530	493	1,036	3,538
	日本遺産魅力発信推進事業	335	233	292	-	-
	日本遺産活用推進協議会補助金(保存事業)	-	-	-	350	500

## 2. 商工業の活性化

### 【基本方針】

時代の流れと共に進む道路交通網の整備は、町民の生活圏域の拡大につながり、近隣市町への大型店舗の進出は、町内における町民に密着した商業経営の困難さを招いています。本町の商工業の再生に向けて、国内外からの観光客による経済効果を十分に活かせる体制を構築し、三朝温泉ブランドの確立を進めます。

また、町内に点在する空き店舗の有効利用に向けて、商工会と連携しながら新たな取り組みを進めます。

### (1) 商工業のにぎわいづくり

#### ①実現目標に対する検証（成果・実績、課題等）

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
商工会と連携し、地域の産業を支える事業者を支援するとともに、新たな外部活力の導入を考えるなど、事業継承につながる対策を重点的に進めます。	商工会の委員会への参加など、事業者支援のために商工会と連携を図った。事業承継対策については重点課題として取り組む必要がある。	やや不良	継続
地域を支えるさまざまな担い手の育成・確保を推進するため、起業、創業、業務拡大といった一貫した経営支援を行い、就労環境の整備へつなげていきます。	令和4年度までに新規創業者7件に対し、安定した経営を図ることができるよう支援を実施した。	概ね良好	継続
三朝温泉ブランド化事業による新たな観光商品、特産品などの開発に取り組みます。	観光商品造成や新事業にチャレンジする事業者への支援を行い、三朝温泉や地域の魅力創出に取り組んだ。	概ね良好	継続
空き店舗を活用した取り組みを推進し、新たな出店や事業拡大などに取り組む意欲のある方を支援します。	令和4年度までに空き店舗を活用した創業6件に対し、支援を実施した。創業希望者の希望に叶う空き店舗物件が紹介できるよう、情報収集していく必要がある。	やや不良	継続

#### ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
・商工会事業支援	継続実施	継続実施
・工場設置奨励事業		
・借入に対する利子補助事業		
・新たな商品などの開発	令和5年度までの新事業の開拓等 5件	新事業の開拓等 5件 (~R4: 2件)
・各店舗の魅力創出と発信力強化		
・販売促進事業の充実		
・空き店舗の把握とデータ化、紹介等の総合窓口の設置	令和5年度までの新規出店 10店舗	新規出店 8店舗 (~R4: 6店舗)
・創業支援と情報発信		

### ③具体的事業の実績等

(単位:千円)

施策の体系	事業名	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 決算	R5 予算
事業者支援制度の充実	三朝町工場設置奨励事業	5,182	3,847	1,892	1,612	1,423
	三朝町創業支援事業補助金	-	-	3,215	3,375	5,500
	三朝町中山間地域買物支援事業費補助金	-	-	1,837	699	1,400
	プレミアム商品券発行事業(新型コロナウイルス感染症対策)	-	9,078	9,926	13,100	-
	新型コロナウイルス感染症対応資金利子補給事業	-	2,248	5,248	6,601	8,491
三朝温泉ブランド化事業の推進	三朝町観光商品造成支援補助金	245	-	-	0	-
	三朝温泉誘客促進事業	2,000	520	-	-	6,880
	三朝町商工振興事業補助金	3,194	2,347	2,400	2,400	2,400
	三朝町商店等魅力向上支援補助金	3,043	1,664	2,418	783	5,000
空き店舗の活用	三朝町空き店舗等活用支援補助金(創業支援)	584	340	3,215	3,375	5,500
	三朝町新事業チャレンジ応援補助金	-	-	251	500	2,000

## 3. 農林業の活性化

### 【基本方針】

町の豊かな自然環境の中で生産される農林産物は、その一つ一つが存在感を持ち、“みささ”をPRできる魅力を持っています。本町を応援していただく多くの方のアドバイスを得ながら、担い手を育成し、新たな発展につなげていきます。

### (1) 農林業のにぎわいづくり

#### ①実現目標に対する検証(成果・実績、課題等)

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
持続可能な水田農業の構築に向け、第2次アクションプランの中で新しい担い手確保対策、新しい基幹作物の育成、新しい農業支援組織の設立に取り組みます。	(有)グリーンサービスの事業再編のなかで、水稲から大豆・飼料作物の転換、新規就農者の育成等を支援した。	概ね良好	継続
三朝米と三朝神倉大豆の生産体制を強化し、品質の向上と販路の拡大により栽培農家の所得向上につなげていきます。	神倉大豆の製品である「神シリーズ」の商品を新しく開発(味噌、どら焼き等)するとともに、地域おこし協力隊の支援による販路の拡大を行った。	概ね良好	継続
果樹農家と畜産農家を支援し、特産物の振興と耕畜連携による土づくりを推進します。	果樹農家に対しては霜雹害、台風被害などの際に県と連携して支援を行った。また、地力増進対策事業により堆肥を使用した土づくりを推進した。	やや不良	継続
有害鳥獣の捕獲体制の充実を図り、捕獲した個体のジビエ利用などを検討します。	日本猪牧場に捕獲したイノシシを提供してジビエ利用を図っているが、今後捕獲が多くなってきたシカについても利用を検討していく必要がある。	概ね良好	継続

森林資源の有効活用に向け、鳥取県中部森林組合と連携し、新たな森林経営管理制度・森林環境譲与税を活用した取り組みを進めるとともに、周辺市町とも連携しながらバイオマス事業の可能性について研究します。	引き続き鳥取県中部森林組合と継続して連携し、各種事業を推進していく。またバイオマス事業については中部の市町と一体となって検討するべき。また既存の木材集荷等の施設を継続・整備していくことも必要となっている。	概ね良好	継続
人・農地問題の解決に向け集落や地域での話し合いを行い、農業従事者の確保に取り組むとともに、農業委員会などと連携しながら残すべき生産基盤の集約化を図り、荒廃農地の森林化や里部における農地利用の適正化を通じて、優良農地を次代につなげる取り組みを進めます。	中山間直接支払実施集落を中心に「人・農地プラン」の作成を推進し、各地域における人・農地問題の共有化を図った。荒廃農地の林地化については木地山の元ほ場整備区域に苗木を植栽し、林地化を図った。	良好	継続

## ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
・第2次アクションプランの策定	令和元年度～	未策定
・新しい担い手の確保（育成）	令和元年度～	継続実施
・新しい基幹作物へのチャレンジ	令和2年度～	R3からガブリの作付を推進
・新たな農家支援組織の設立	令和2年度	検討中
・土づくりによる良食味米生産	令和元年度～	継続実施
・担い手による生産振興	令和元年度～	継続実施
・三朝温泉との連携強化	令和元年度～	継続実施
・果樹生産部会の活性化対策	令和元年度～	検討中
・耕畜連携事業の推進	令和2年度～	検討中
・イノシシ、シカ対策	令和元年度～	継続実施
・ジエ事業者との連携	令和元年度～	日本猪牧場との連携
・計画策定	令和元年度	継続実施
・森林経営管理制度の運用	令和元年度～	継続実施
・バイオマス事業研究	令和元年度～	検討中

## ③具体的事業の実績等

(単位:千円)

施策の体系	事業名	R1実績	R2実績	R3実績	R4決算	R5予算
持続可能な水田農業の推進	水田農業サポート事業	5,000	8,501	8,304	6,342	11,883
	担い手農家支援事業	4,031	2,608	5,185	4,794	5,993
	多面的機能支払交付金事業	31,949	30,959	28,869	25,622	32,643
	がんばる地域プラン事業	16,849	-	-	-	-
	新規就農者総合支援事業	1,950	1,600	1,500	2,100	2,700
	三朝町農業再生協議会補助金	2,100	1,965	1,821	1,739	2,000
	集落営農体制強化支援事業	-	242	7,600	633	0
	中山間地域を支える水田農業支援事業費補助金	-	2,970	-	118	-
	中山間地域等直接支払交付金	59,328	58,558	58,973	58,839	58,840
	農地中間管理事業	1,056	2,196	2,334	2,078	2,432

	農地中間管理集積支援事業	1,646	2,153	2,334	2,450	3,174
	町民農園事業	24	43	24	24	73
三朝米と地大豆の振興	食でつながる三朝ファン獲得事業	235	18	70	-	-
	食のみやこフェスティバル出展事業	-	-	-	197	237
	三朝の特産物振興加速化プロジェクト	-	2,694	3,388	-	-
	特産品振興事業	-	-	-	677	2,370
果樹・畜産の振興	和牛振興総合対策事業	938	4,482	-	-	1,351
	優良乳用牛造成支援事業	76	189	60	108	578
有害鳥獣対策の推進	鳥獣被害総合対策事業費補助金(単県)	9,690	11,223	14,043	9,648	12,250
	鳥獣被害防止総合対策事業(補助)	1,754	5,852	11,935	11,790	13,792
	鳥獣被害対策実施隊設置費	584	1,089	948	1,142	1,543
	鳥獣被害総合対策事業費補助金(単町)	3,433	2,127	3,966	8,152	7,577
新たな森林管理計画への取り組み	(再掲)県営林道開設事業負担金(補助)	14,257	24,368	39,461	3,022	21,127
	(再掲)農山漁村地域整備交付金事業(林道整備)	37,440	0	0	1,142	3,300
	林業・木材産業成長産業化促進対策事業	5,113	-	-	-	-
	森林整備担い手育成対策事業補助金	152	363	358	108	150
	林業労働者福祉向上対策事業補助金	259	263	257	232	253
	森林 ICT 推進事業	436	440	390	275	1,111
	竹林整備地域活動支援補助金	326	753	600	636	1,328
	松くい虫防除事業	9,092	12,388	12,847	12,920	13,936
	低コスト林業機械リース等支援事業	-	8,866	-	5,600	-
	荒廃地林地化促進モデル事業	-	87	254	178	66
	未来につなぐ森づくり事業	9,426	10,547	7,695	7,553	11,980
	三朝町基本財産林保育事業費	1,490	1,808	1,978	10,082	15,477
森林管理システム事業費	-	1,255	8,974	9,062	7,336	

#### 4. 地域資源の活用に向けて

##### 【基本方針】

三徳山投入堂、三朝のジンショといった普遍的価値の高い文化財は、本町にとってかけがえのない宝です。今後は、地域に伝わる伝統文化など、活用できていない貴重な地域資源を掘り起こし、これらに磨きをかけながら、さまざまな分野における“みささの魅力”と交わり響かせ、新たな観光資源としていきます。

##### (1) 文化財の保存と活用

###### ①実現目標に対する検証(成果・実績、課題等)

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
町内の文化財について、適時調査を実施し、その価値の解明と適正な保存、管理に努めます。	継続的に調査を行ってきた後口山遺跡(神倉)について、令和6年度に一旦報告書を作成し、これまでの調査成果を整理するとともに今後の調査方針を明らかにする。	良好	継続

町の宝となる文化財の適正な保存に向け、国・県への積極的な働きかけを行います。	日本遺産の地として文化財の保存・活用を推進するとともに、調査による新たに判明した文化財については追加指定を検討する。また、三徳山の世界遺産登録推進運動に継続して取り組む。	概ね良好	継続
町内全域の文化財について、適正な保存を前提としつつ、一体的な活用を行っていくための「文化財保存活用地域計画」を策定し、総合的な活用を推進します。	町内全域の文化財の活用に向けた「文化財保存活用地域計画」の策定について、検討を継続する。	やや不良	継続
学校教育や社会教育の場を活用し、町民の文化財に対する理解の向上に取り組めます。	令和3年から実施している日本遺産アンケートの結果に基づき、日本遺産の構成要素である文化財を中心に理解度の向上を図る。	良好	継続
日本遺産の認定を受けた三徳山を中心とした町内文化財の価値などについて、積極的に情報発信を行い、町のイメージアップにつながる取り組みを推進します。	日本遺産三徳山三朝温泉を守る会により、三徳学講座の開催や啓発誌の発行、山護運動・観光整備活動など現地での保全活動などを積極的に行い、普及・啓発活動に努めた。	概ね良好	継続
日本遺産の保全に努め、積極的な活用に向け国内外への周知を図ります。	英語、フランス語、中国語、中国語（繁体字）、韓国語の多言語のパンフレットの作成やホームページを作成し、観光誘客、交流人口の増加に努めた。	概ね良好	継続

## ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
・三徳山の価値を証明するための調査	継続実施	継続実施
・文化財の保存管理状況の把握	継続実施	継続実施
・文化財保存活用地域計画の策定	令和5年度策定	令和8年度策定
・三徳山・小鹿溪の保存活用計画策定	令和2年度策定・認定	令和4年度策定・令和5年度認定
・文化財指定の推進	継続実施	継続実施
・指定文化財修繕支援	継続実施	継続実施
・情報発信媒体の多様化検討	継続実施	継続実施
・文化財マップの作成・公開	令和2年度作成・公開	令和8年度作成・公開
・講座などの開催	年2回	年2回
・日本遺産の認知向上のための情報発信	年4回	年4回

## ③具体的事業の実績等

(単位:千円)

施策の体系	事業名	R1実績	R2実績	R3実績	R4決算	R5予算
文化財の調査	(再掲)三徳山遺跡発掘調査等事業	7,231	8,530	493	1,036	3,538
文化財の保存	無形民俗文化財保存継承事業補助金	1,000	0	308	-	-
	名勝及び史跡三徳山修復事業補助金	9,361	-	-	-	-
	名勝及び史跡三徳山史跡等買上げ事業	4,222	48,320	58,761	-	-
	史跡等保存活用計画策定事業	1,870	1,215	-	-	-
	(再掲)日本遺産活用推進協議会補助金(保存事業)	-	-	-	350	500



文化財の活用	世界遺産登録推進調査経費	0	34	0	19	145
	(再掲)日本遺産魅力発信推進事業	335	233	292	-	-

## (2) 産業の振興

### ①実現目標に対する検証（成果・実績、課題等）

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
民間企業の誘致を含め、地域の活性化と若者の定住につながるよう、学校跡地の有効的な活用を検討します。	コロナ禍により相談件数は少なかったものの、民間企業からの問い合わせや視察に随時対応した。令和5年度から正式に公募を開始したい。	やや不良	拡大
町内光ファイバー化（FTTH化）を有効的に活用した産業の振興に努めます。	FTTH化により、町内全域で高速通信網が整備されたことで、充実した通信手段を確保することができ、起業や既存事業者における環境整備につながっている。 今後は、活用用途として産業振興につながるような取り組みを検討していく。 なお、令和4年度にFTTHを活用した高齢者見守りサービスの実証事業をNCNと連携して実施。	概ね良好	拡大

### ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
・学校跡地利用検討委員会	令和元年度～実施	R1 立ち上げ、R2 利用方針決定
・町内光ファイバー設備の有効活用の検討	令和2年度～検討	高齢者見守りサービスを実施 その他も検討中

### ③具体的事業の実績等

(単位:千円)

施策の体系	事業名	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 決算	R5 予算
学校跡地の利活用	学校跡地利用検討委員会	119	-	-	-	-
町内光ファイバー設備の活用	三朝町住民ネットワーク光化見守り事業	-	-	-	1,600	830

# 第5章 笑顔で元気に暮らせる町

## 1. みささらしい暮らしを創る

### 【基本方針】

三朝町での有意義な暮らしを実現するためには、町の持つ魅力を受け入れ、積極的に活かす姿勢が求められます。人との出会いや交わりを通じて、三朝ならではの魅力を暮らしの中で共有し、豊かな“みささらしい”を実現します。また、この暮らしを町の新たな魅力として発信し、移住・定住の推進につなげます。

### (1) 多様な暮らし方への応援

#### ①実現目標に対する検証（成果・実績、課題等）

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
行政は、町民が主体的に自分たちの地域を考える機運の醸成に取り組み、町民は地域活動を有意義に取り組むスタイルを創ります。	町民の地域づくり活動を促進することを目的とし、みささらしい実践交付金で支援を実施している。	やや不良	継続
これから地域や町の中心となる若者が、“住み続けたい”“住んでみたい”と思えるよう、子育て環境の充実を図るとともに若者にとって魅力のある地域づくり・町づくり事業に取り組みます。	住宅取得に係る補助制度の対象者拡充を図るなど、定住しやすい町づくり事業に取り組んだ。 充実した子育て支援策を展開してきたが、移住や定住に結びついたのか検証ができていない。今後は「住んでみたい」と思ってもらえる町づくりを全庁的に考える必要がある。	やや不良	拡大
現代の若者の考えを的確につかみ、三朝の中で若者が集い、考え、町づくり活動を実践することのできる環境を創ります。	ふるさとレターを実施しており、若者へのアンケート調査を実施している。発展的な展開のなかで拡充も進めていき、まずは若者との接点を増やしていく。	やや不良	継続

#### ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5 年度目標	R5 年度見込
・若者地域づくり会議	令和元年度～実施	検討中
・しゃべれるワークショップの開催	令和元年度～実施	検討中
・みんなで創り上げる協働事業	令和元年度～実施	検討中
・世代間交流の取り組み	令和2年度～実施	検討中
・移住・定住促進補助の充実	平成31年～拡充	移住・定住促進補助対象者の拡充
・集える場の創出	令和2年度 2回開催	オンラインを活用して実施

#### ③具体的事業の実績等

(単位:千円)

施策の体系	事業名	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 決算	R5 予算
若者が定住しやすい環境づくり	ふるさとレター事業	21	0	112	94	181
	子育て・定住支援事業	307	559	363	781	1,110



	移住定住促進事業	8,417	4,852	12,582	11,297	14,550
	三朝町ふるさと回帰同窓会支援事業	40	-	-	8	168

## (2) 環境保全と廃棄物の減量化

### ①実現目標に対する検証（成果・実績、課題等）

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
4R（リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル）によるごみの減量化に対する意識を高めるとともに、環境保全活動に向けた広報・啓発及び環境教育の推進に努めます。	リサイクル率は、平成28年度以降31%前後で推移しており、ごみ分別説明会などの広報・啓発を積極的に行い、リサイクル率の向上に努める必要がある。	やや不良	継続
不法投棄や野焼きなど、環境保全に影響を及ぼす行為を未然に防ぐよう周知徹底を図ります。	不法投棄監視パトロールの実施や、不法投棄禁止看板の設置を行い、不法投棄の予防に努めた。また、不法投棄された廃棄物の回収・処理を行い環境保全に努めた。	概ね良好	継続
再生可能エネルギーの利用促進を図ります。	住宅用太陽光発電システム等の設置費の補助金を交付するなど、家庭での地球温暖化防止などの地球環境の保全についての意識向上を図り、再生可能エネルギーの利用促進に努めた。	概ね良好	継続
地球温暖化対策実行計画に基づき、行政が率先して温室効果ガスの排出量削減に向けて取り組むほか、家庭や事業所における対策の啓発及び実践活動の促進に努めます。	2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロをめざす「ゼロカーボンシティみささ宣言」を行い、三朝町温暖化防止計画（区域施策編）を策定。温室効果ガスの排出量削減に向けて取り組みを進めている。	概ね良好	継続
未来永劫に三朝の美しい景観を保全するため、日本遺産認定区域における景観形成を目的とした取り組みを進めます。	令和4年度に景観条例を制定。令和5年度から三朝町景観計画の策定に向け景観審議会を立ち上げる。	概ね良好	継続

### ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
・町内一斉清掃の実施	1人1日当たりの排出量	1人1日当たりの排出量
・環境パトロール、トレー回収	900 <sup>㊦</sup> （H29:985 <sup>㊦</sup> ）	965 <sup>㊦</sup>
・こどもエコクラブへの補助	一般廃棄物リサイクル率 38%（H29：31.8%）	一般廃棄物リサイクル率 31.0%
・食品ロス削減の推進	令和元年度～実施検討	県主催の「とっとりフードドライブへの参画」 2回/年
・再生可能エネルギー導入補助	温室効果ガス排出量 824t-CO <sub>2</sub> （H29:850t-CO <sub>2</sub> ）	温室効果ガス総排出量（二酸化炭素 総排出量-町内森林の二酸化炭素吸 収量）△23千t-CO <sub>2</sub>
・景観形成条例の設定	令和元年度～策定検討	R4景観条例設定

### ③具体的事業の実績等

（単位：千円）

施策の体系	事業名	R1実績	R2実績	R3実績	R4決算	R5予算
-------	-----	------	------	------	------	------

環境保全対策の推進	きれいな町づくり推進費	942	1,130	1,203	800	842
	不法投棄対策処理事業	63	225	80	178	431
	資源ごみ収集処理対策費	5,662	5,662	5,583	5,525	6,634
	集落ごみ置き場整備補助金	0	0	33	0	200
	野良猫避妊・去勢手術費補助金	240	290	340	220	420
地球温暖化防止対策の推進	太陽光発電等普及促進事業補助金	540	2,325	2,054	1,301	3,180
	家庭用生ごみ処理機購入補助金	-	61	35	36	320

## 2. つながりを大切に作る地域づくり

### 【基本方針】

三朝町での暮らしは、豊かな自然と地域における良好な人のつながりがもたらす温かいものです。時代の流れと共に集落の人口が減り、この暮らしがままならなくなってきました。集落や地域における人のつながりを再生し、一層大切にしながら、三朝の温かい暮らしを守っていきます。

### (1) 共につながり活力あるコミュニティー

#### ①実現目標に対する検証（成果・実績、課題等）

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
元気な地域づくりの要である地域協議会は、各地域の将来像を描き、時代に対応した地域住民のニーズに応じた事業を進めます。また、行政の役割として、既存の公共施設の役割を整理しつつ、地域それぞれの主体的活動の拠点を整備します。	令和4年度に「地域協議会の在り方検討会」を開催し、地域協議会発足以来の歩み、課題、あるべき在り方について議論を重ねてきた。そして、町の地域づくりの大きな方針を定める地域づくり指針を策定した。今後も拠点の整備を含めた地域振興について、引き続き検討会による議論を進めていく。	概ね良好	拡大
住民との積極的な話し合いを通じて、具体的な行政支援などの手法を組み立て、効率的な地域の活性化につなげます。		概ね良好	拡大
山間部の集落では、高齢過疎化により集落機能の維持が困難な状況となっています。地域協議会と連携しながら身近な支え合いなどの必要な体制を構築します。		概ね良好	拡大

#### ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
・地域活性化交付金事業	継続	継続
・集落支援員の配置	専属支援員の配置（令和5年度）	地域協議会の在り方検討会で協議
・地域ビジョンの策定	令和元年度～検討	地域づくり指針策定
・地域拠点施設整備計画の策定	令和元年度～検討	まちづくりセンター構想着手
・地域おこし協力隊の配置	令和元年度（2人）	令和5年度 2人
・協議会連合会協働研修会	令和元年度～実施	検討中
・地域協議会×集落	令和元年度～検討・実施	検討中
・集落支援員の配置	専属支援員の配置（令和5年度）	地域協議会の在り方検討会で協議
・集落支援体制の構築	令和元年度～実施	地域協議会の在り方検討会で協議

#### ③具体的事業の実績等

(単位:千円)

施策の体系	事業名	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 決算	R5 予算
自立した地域コミュニティ	自治振興交付金	6,337	6,293	6,287	6,267	6,267
	地域おこし協力隊活動費(企画)	2,948	4,261	3,967	8,877	18,593
	地域自主活動支援交付金	1,800	1,800	1,800	-	-
	地域協議会パワーアップ交付金	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
集落維持への支援	集落公民館建設等補助金	1,706	6,127	3,288	2,095	2,800
	三徳地区多目的研修施設改修費	-	-	-	54,265	4,090

## (2) 国内・国際交流の推進

### ①実現目標に対する検証(成果・実績、課題等)

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
国際交流員や外国語指導助手の活躍の場を広げることにより、次代を担う子どもたちの国際感覚の醸成に努めるとともに、町全体を通じて国際性豊かな人材の育成に努めます。	国際交流員や外国人指導助手の継続的な任用により、次代を担う子どもたちや町全体を通じた国際性豊かな人材育成に努めた。	概ね良好	継続
国際交流員がインバウンドコーディネーターとしての役割を担い、効果的な情報発信などにより、海外からの観光客の増加に努めます。	国際交流員がインバウンドコーディネーターの役割を担い、国内外への効果的な情報発信により、外国人観光客の増加に努めた。	概ね良好	継続
国内交流では、子どもたちの相互交流や民間交流のほか、観光振興につながる取り組みを推進します。	新型コロナウイルス感染症の影響により、相互交流が行えなかった期間はあるものの、オンラインでの交流をはじめ、これまでの交流が途切れることのないよう努めた。	概ね良好	継続
国内外のさまざまな地域、団体などとの幅広い交流を継続的に進め、新たなつながりを見出すなど、多彩な交流の展開による交流人口の増加に努めます。	新型コロナウイルス感染症の影響により、相互交流が行えなかった期間はあるものの、情報交換をはじめ、これまでの交流が途切れることのないよう努めた。	概ね良好	継続

### ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5 年度目標	R5 年度見込
・フランス ラマルー・レ・バン町との交流促進	交流人口増加	アフターコロナからの交流再開
・台湾台中市石岡区との交流促進		
・京都府城陽市との交流促進	交流人口増加	アフターコロナからの交流再開
・滋賀県多賀町との交流促進		
・茨城県大洗町との交流促進		
・岡山県鏡野町との交流促進		

### ③具体的事業の実績等

(単位:千円)

施策の体系	事業名	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 決算	R5 予算
国際交流の推進	国際交流員活動費	5,021	5,019	5,167	4,701	4,542

	(再掲) 外国人観光客誘致対策事業	1,634	878	842	2,632	1,151
	(再掲) 中学生手作り訪仏事業	2,641	0	0	0	5,810
	(再掲) 台中市石岡区との中学生相互交流事業	2,779	0	0	0	4,973
国内交流の推進	(再掲) キュリー祭開催補助金	2,000	338	1,300	1,600	2,800
	(再掲) 国内交流都市観光客誘致対策事業	417	46	55	525	1,186
	(再掲) 三朝町・城陽市文化スポーツ交流事業	513	0	25	16	605

### (3) 町づくり応援団の充実

#### ①実現目標に対する検証（成果・実績、課題等）

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
外から見た三朝町に対する意見を大切に、「三朝の良さ」を伸ばす取り組みを進めるとともに、改善すべき点について耳を傾け、対策を進めます。	人口減少への対策として「人口減少問題突破プロジェクト」、「人口減少カレンダー」、さらには「三朝町応援団」の立ち上げなどを進めていき、課題の解決につなげていく。	やや不良	拡大
さまざまな分野において全国的に活躍されている町出身者や三朝のファンの方は数多くおられます。そういった方々の協力を得ながら関係人口を創出し、新しい“みささの町づくり”を共に進めます。		やや不良	拡大

#### ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
・各分野における外部意見調査	令和元年度～活用	－
・文化芸術面での三朝バイオリン美術館との連携事業	令和2年度～実施	2回/年 町行事での演奏等、町民が文化芸術に触れる取り組みを実施。
・岡山大学地球物理学研究所との連携事業	令和元年度～検討・実施	コズミックスペースを実施
・町づくり応援団の認定	令和元年度～実施	検討中

#### ③具体的事業の実績等

(単位:千円)

施策の体系	事業名	R1実績	R2実績	R3実績	R4決算	R5予算
外部意見の有効活用	(再掲) 地域おこし協力隊活動費(企画)	2,948	4,261	3,967	8,877	18,593
	ふるさと応援寄付金特別経費	17,885	14,290	17,859	17,622	58,105

### (4) 情報発信と共有の推進

#### ①実現目標に対する検証（成果・実績、課題等）

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
高度多様化するICTに対応し、中山間地域であっても都市部に負けない情報通信基盤の整備を進めます。	町の情報通信基盤をFTTH方式(光ファイバー)に移行させるため、令和2年度に局舎施	良好	完了

観光産業、農林業、商工業分野へICTを用い、合理化・効率化を図るとともに新たな挑戦へとつなげていきます。	設・幹線整備、令和3年度に宅内切替工事、令和4年度に撤去工事を行った。	概ね良好	継続
教育、子育て、福祉分野の町の魅力発信においても、ICTを最大限に活用し、若者の定住さらには町外者の移住につなげます。	令和4年度にはこの基盤を活用した福祉見守りサービスの実証事業を行った。	概ね良好	継続
ウェブサイトやSNSを活用し、国内外へ町の魅力を最大限かつ有効に発信していきます。	ホームページと連動したSNSを活用し情報発信に努めたほか、動画コンテンツの制作にも力を入れた。SNSの拡充と動画コンテンツの充実を図っていくのが今後の課題。	概ね良好	拡大

## ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
・町内光ファイバー化事業（FTTH化）	令和4年度	令和3年度 宅内引込工事完了
・AIを活用したまちづくり実証実験の検討	令和5年度～	検討中
・IT教室の開催	令和5年度～	三朝大学及び社会教育講座におけるスマホ教室の開催
・ICT×教育の実現	令和5年度～	令和2年度から本格的に活用
・SNS教室	令和2年度～	三朝大学及び社会教育講座におけるスマホ教室の開催
・ICT×地域見守り	令和5年度～	令和4年度 実証事業実施 令和5年度 本格展開実施
・情報発信専門員の配置	令和元年度～	検討中
・各分野の情報発信	継続実施	継続実施

## ③具体的事業の実績等

（単位：千円）

施策の体系	事業名	R1実績	R2実績	R3実績	R4決算	R5予算
高度情報通信基盤の整備	情報通信基盤設備改修事業（FTTH方式化）	270	59,400	146,636	118,132	-
ICTの活用による地域活性化	（再掲）地域おこし協力隊活動費（企画）	2,948	4,261	3,967	8,877	18,593
	新型コロナウイルス感染症対策費（関係費合算）	-	-	-	3,976	-

## （5）広域的な連携と計画的な行政運営

### ①実現目標に対する検証（成果・実績、課題等）

実現目標	実現目標に対する成果・実績、課題等	総合検証	方向性
周辺市町と連携を図り、鳥取中部ふるさと広域連合計画に基づき広域施策や共同事業を効率的に推進します。	三朝町総合計画、鳥取県中部定住自立圏共生ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略との整合性を図りながら、広域連合と連携して進めていく必要がある。	概ね良好	継続
県境を越えた隣接市町との連携を図り、抱える共通課題の解決や、共通の社会資源の有効的な活用を図ります。	鳥取・岡山県境開発促進協議会に参加し、共通課題について要望活動や意見交換等を行った。	概ね良好	継続

将来的な人口減少を見据え、インフラ整備、福祉サービスなどの提供体制を安定したものとするため、行政コストの軽減に向けた検討を進めます。	長期的展望において人口減少、歳入の減少が予測されることから、公共施設等の計画的な維持管理及び公共施設等の更新にかかる財政負担の軽減・平準化を目的として三朝町公共施設総合管理計画を策定している。令和4年度において本町の現状及び国の指針により本計画の改訂。計画に沿ったインフラ整備等を行い、行政コストの軽減に努めた。	概ね良好	継続
時代の流れを常に意識し、効率的な行政運営が図れるよう組織体制を整理し、民間の力を活用するなど持続可能な自治体運営に努めます。	温泉を活用した健康まちづくりの推進と健康づくり体制の強化を図るため、「企画健康課」を設置。	良好	継続
行政は、本町が将来にわたり輝き続けるために、しっかりとの方針のもと町づくりの基盤を固め、町民が主役の町づくりを支えます。	第11次三朝町総合計画・後期基本計画においては、コロナ禍により社会情勢が大きく変容する中において、今一度広く町民の声を反映し、実態に即したものとなるよう、ワークショップやパブコメ等を実施しながら策定を進めていく必要がある。	良好	継続

## ②主要施策の目標に対する達成見込み

主要施策	R5年度目標	R5年度見込
・鳥取県中部定住自立圏共生ビジョンの推進	継続実施	継続実施
・公共施設への民間活力の導入	令和5年度 9施設 (H30：8施設)	検討
・将来人口の推計と対応する施策	令和2年度～検討	検討

## ③具体的事業の実績等

(単位：千円)

施策の体系	事業名	R1実績	R2実績	R3実績	R4決算	R5予算
広域行政の効率的な推進	鳥取・岡山県境開発促進協議会負担金	15	15	15	0	15
	(再掲) 鳥取中部観光推進機構負担金	486	486	486	486	486
	(再掲) 伯耆国「大山開山 1300年祭」実行委員会負担金	1,060	-	-	-	-